

a SoftBank Group company
CU サイバー大学
Cyber University

CYBER UNIVERSITY GUIDEBOOK

サイバー大学 大学案内

CYBER UNIVERSITY GUIDEBOOK

学ぶ。変わる。学び続ける。

サイバー大学 大学案内

MESSAGE

FROM THE PRESIDENT

「卒業したあとも、学び続けたい大学を目指して」

在学中に学ぶテクノロジー、ビジネスプロセス、そして業務の在り方自体が、今まさに大きな変革の時代を迎えています。特に生成AIの登場以降、社会の情報基盤は「デジタル化」から「AI化」へと劇的な進化を遂げつつあります。

プログラムのコードを書くことや、完成したプログラムのテストといった従来のエンジニアリング業務は、すでにAIにより自動化されつつあります。

また、ビジネスにおいても、提案書や企画書の作成がAIの支援によって飛躍的に効率化・高度化しています。こうした時代においては、テクノロジーに精通するだけでなく、ビジネスの本質を理解する力が求められます。同時に、ビジネスの現場でもテクノロジーの知識なしには生産性の向上は望めません。

このような社会の要請に対し、「ビジネスのわかるITエンジニア」「ITのわかるビジネスパーソン」の育成を掲げるサイバー大学の教育理念は、ますますその重要性を増しています。

2024年度から、サイバー大学は日本の大学として初めて、学位プログラムにおいてマイクロクレデンシャル制度を導入し、分野別修了証としての「オープンバッジ」を発行する取り組みを開始しました。

その成果はすぐに表れ、バッジ取得を目指す在学生の履修継続率は向上。

また、卒業生の中には在学中に履修しきれなかった科目や、新たに開講された科目を学ぶために、科目等履修生として再入学する動きが広がっています。

2025年度春学期からは、

「生成AI活用」をゴールドバッジレベルのマイクロクレデンシャルとして新たに設置しました。

多くの卒業生がこの新しい領域に挑戦するため再び学びの場に戻り、在学生とともに未来を切り拓いています。

また、本学ではこれまでも、専門科目・教養科目を含め、社会の変化やニーズに応じてカリキュラムの見直しや刷新を継続的に行っています。

サイバー大学は常に進化を続ける大学です。

私たちが教育内容を絶えずアップデートし続ける限り、学生・卒業生の皆さんの学びもまた、終わることはないでしょう。

サイバー大学 | 学長 川原 洋



学ぶ。 変わる。 学び続ける。

Learn. Transform.
Keep Evolving.

想像してみよう。

1年先は過去の1年よりさらに大きな変化が起こるはずだ。
社会が大きく変わろうとしている今だから、大学の学びも変わっていく。

未来に必要とされるITスキルだからこそ、
学修そのものをIT化して、実体験から学んでいくことが
大事ではないだろうか。

ITが、あなたのめざす道をより広げ、あなたをより自由にする。
いつだって、どこだって、
それぞれのあなたに合った学び方を、
未来をつかむ力を。

ABOUT "CYBER UNIVERSITY"

サイバー大学について

開学19年目を迎えた ソフトバンクグループによる 日本初のフルオンライン大学

Feature. 03



入学から卒業までを支える 360° サポート体制

- ✓ 学生生活・キャリア形成を支える4つのサポートセンター
- ✓ 一人ひとりに目が届く手厚い修学指導
- ✓ サポートの充実さを裏付ける高い継続率「2学期目履修継続率90.5%」

詳しくは **P.27**

Feature. 04



皆さんの学びたい気持ちを 支える経済的サポート

- ✓ サイバー大学の学費
- ✓ 通学制大学と同等の貸与が受けられる日本学生支援機構の奨学金
- ✓ 充実する本学独自の奨学金制度

詳しくは **P.33**

Feature. 01



学びはひろがる。 学びはつながる。 場所も、世代も超えて

- ✓ 「高校新卒も会社役員も同級生」
十人十色の学生が集う大学
- ✓ 「オンラインでも孤独じゃない」
双方向に交流ができる学習スタイル

詳しくは **P.05**

Feature. 02



高度IT人材を育む IT総合学部

- ✓ 第一線で活躍するエンジニアや起業家らが教える最先端の学び
- ✓ 授業を通して身に付いたと実感したもの「授業の満足度 83.6%」
- ✓ マイクロレディンシャルで実現できる専門性と多様性の両立

詳しくは **P.15**

Feature. 05



オンラインならではの 就職・キャリア支援

- ✓ 充実したキャリア支援イベント
- ✓ 卒業後の進路・主な就職先
- ✓ 卒業生の継続学習を支援

詳しくは **P.35**

Feature. 06



外部から見た大学評価と 最新のトピックス

- ✓ 第2回オープンバッジ大賞 受賞
- ✓ 「Times Higher Education Online Learning Rankings 2024」で日本から唯一のランクイン!
- ✓ GPS-Academicから見るサイバー大生の高い問題解決能力「成長実感 85.4%」

詳しくは **P.41**

学びはひろがる。学びはつながる。

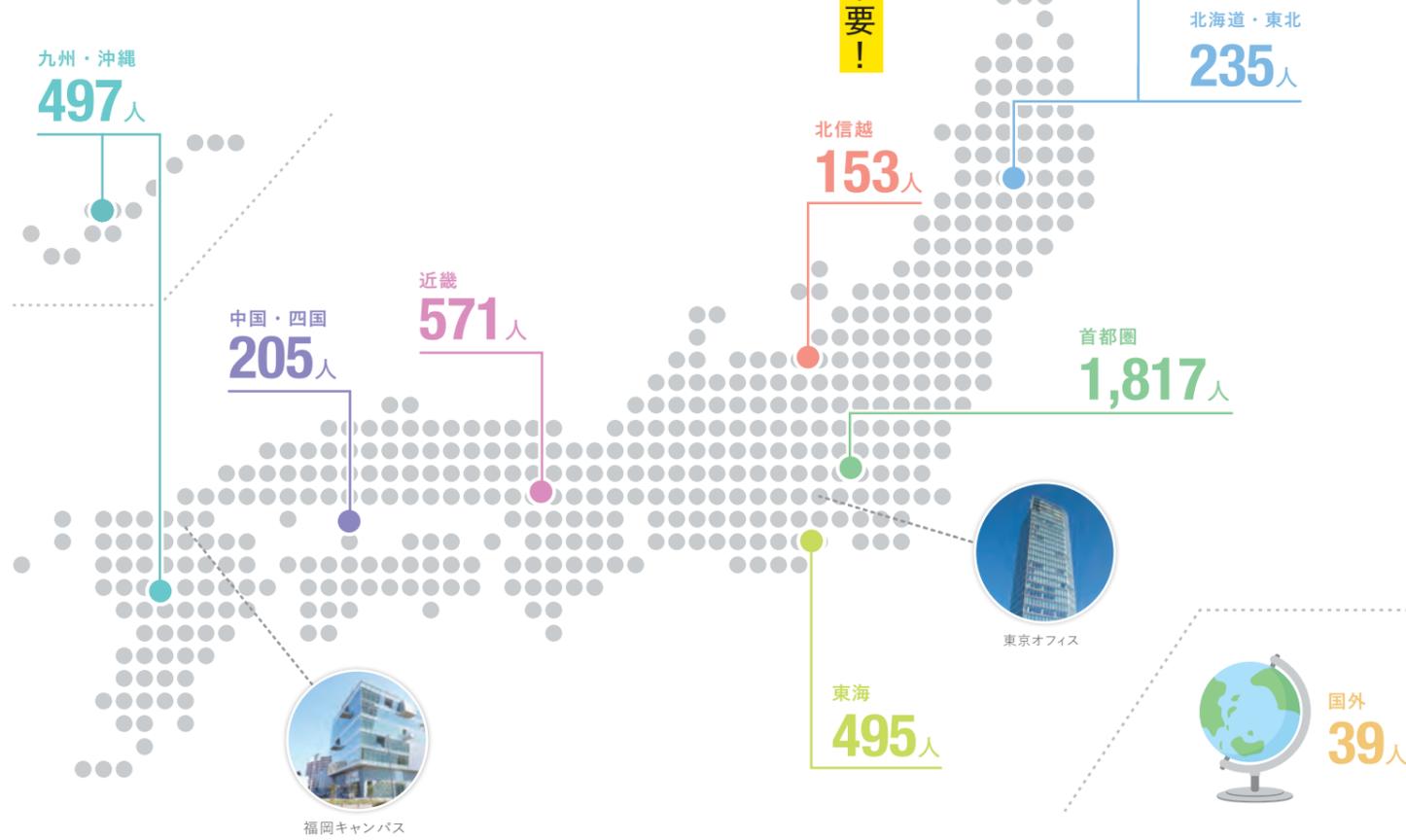
場所も、世代も超えて

各地に在住する4,012人の在学学生。学び方は十人十色。

サイバー大学の特長であるフレキシブルな学習環境によって全国各地や国外から多様な学生が集まり、それぞれのライフスタイルに合わせたキャンパスライフを送っています。

世界各地がキャンパスに。

フルオンラインだから通学不要！



*2024年11月時点

北海道在住

栗垣 健二さん
システムエンジニア
2023年度 秋学期入学

サイバー大学の推しポイント

- ・通学不要
- ・スマホで受講できる
- ・好きな時に受講できる
- ・繰り返し受講できる
- ・不明点を質問できる

主夫業と仕事を続けながら
大学卒業を実現

東京都在住

足田 睦さん
臨床工学技士
2023年度 春学期入学

サイバー大学の推しポイント

好きな時間、隙間時間に気軽に勉強ができて、分らなければ何度も講義を聞き直すことができる

アフリカで国際協力の
仕事に携わりたい

神奈川県在住

武田 佐和子さん
人財育成・企画
2021年度 春学期入学

サイバー大学の推しポイント

仕事と4人の子供の子育てをしながらでも、学び続けられるオンライン環境が充実しているところ

新しいことを怖がらず
学び続けられる自分であること

愛知県在住

釣部 寛太さん
技術職
2020年度 秋学期入学

サイバー大学の推しポイント

スクーリング不要で自分のペースに合わせた学習ができ、卒業後も継続して学習できる

幅広い知識と
経験を活かして起業

石川県在住

普輪崎 冴子さん
専攻学生
2022年度 春学期入学

サイバー大学の推しポイント

学習面ではITとビジネスの両方が学べることで、学生生活の面では多様な学生と出会うことが推しポイント

教養と品があり
学び続ける人になりたい

大阪府在住

小池 璃玖乃さん
専攻学生
2023年度 春学期入学

サイバー大学の推しポイント

学習のペースを自分で決められるので、学外の予定も柔軟に組めるのがこの大学の良いところだと思います

大学で学んだAIや
DXの知識を活用したいです
(普段の生活や仕事で)

高知県在住

吉永 有太さん
専攻学生
2024年度 春学期入学

サイバー大学の推しポイント

- ・スマホがあれば24時間どこでも学べる
- ・全国の色々な年代、職種の人たちと交流できる
- ・ビジネス視点でITを学べる

夢はセキュリティエンジニア!
情報処理安全確保支援士を
めざしています!

広島県在住

中丸 博幸さん
自営業・講師・エンジニア
2021年度 春学期入学

サイバー大学の推しポイント

- ・ビジネスに長け、実績もある先生が多い
- ・ビジネス系科目が多い
- ・脳をリフレッシュできる教養科目もある

経営する会社の規模を拡大し、
システムと保守サービスを
継続提供したい

カナダ バンクーバー在住

辰 知弥さん
専攻学生
2022年度 秋学期入学

サイバー大学の推しポイント

- ・授業が高品質で、講師の方が前のめり
- ・サポート体制が充実
- ・通学の必要がないので、様々な挑戦ができる

オンラインで
自分のビジネスを持つこと

学びはひろがる。学びはつながる。場所も、世代も超えて

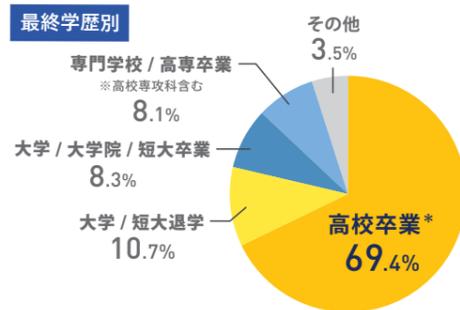
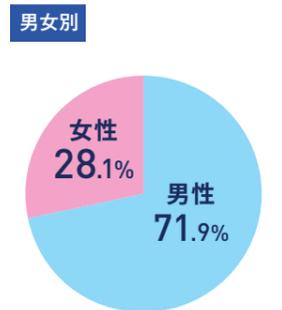
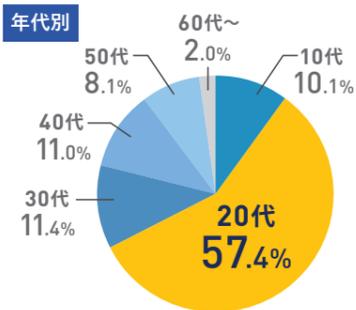
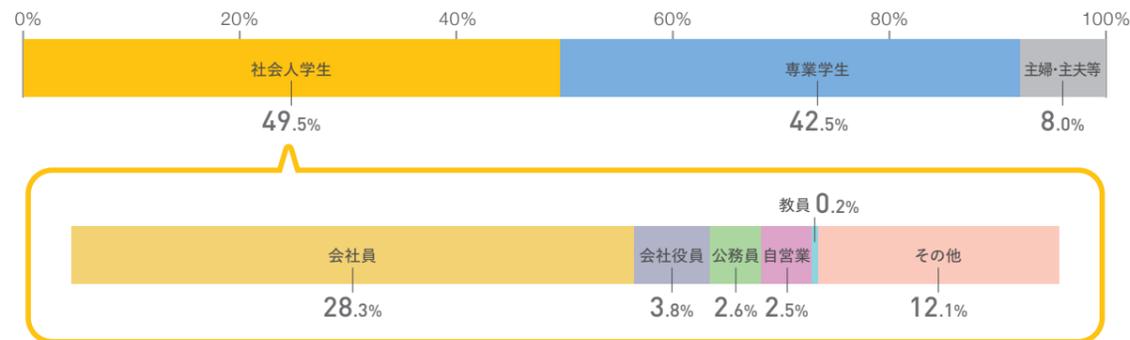
「高校新卒も会社役員も同級生」 十人十色の学生が集う大学

AGE FREE

自由な学びのスタイルが実現できる本学では、さまざまなバックグラウンドを持った学生が在籍しています。具体的には、社会人の方、18～22歳を中心とした若年層の方、家事や育児との両立・セカンドライフでの学びを志す方等、多様な学生が学んでいます。

 <p>社会人</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 会社員 / フリーランス ◆ 管理職 ◆ 会社役員 / 経営者 等 	 <p>若年層</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 高校新卒 ◆ 他大学・専門学校等からの編入学 ◆ 若手会社員 等 	 <p>主婦/主夫、育休中 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 主婦 / 主夫 ◆ 産休 / 育休 ◆ 定年退職 / セカンドライフ 等
---	--	---

在学生の職業分布



20代を中心に幅広い年齢層の学生が在籍

働く女性が多数在籍 多様な視点と創造性を育む環境

高校卒業をはじめ、他大学等を卒業・退学して本学に編入学する人も多い

*高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)合格者を含む

※2024年11月時点

通学不要だからどこからでも学べる

AREA FREE

サイバー大学はスクーリング(教室で行う対面授業)も含めて、卒業まで通学の必要が一切ありません。インターネット環境があれば、eラーニングでいつでも学べます。そのため、都市部・地方部による地域差は一切ありません。

<p>サイバー大学</p>  <p>100%オンラインで受講</p>	<p>スクーリングがある通信制大学</p>  <p>一定期間キャンパスに通う必要がある</p>	<p>一般的な通学制の大学</p>  <p>キャンパスに通って教室で受講</p>
--	---	--

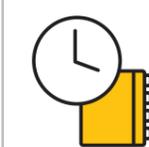
オンデマンド授業だから いつでも好きな時間に学べる

TIME FREE

サイバー大学の授業はあらかじめ収録された動画を視聴するオンデマンド形式です。そのため時間帯の制約はなく、出席認定期間(2週間程度)であればいつでも受講することができます。自身で時間割を自由に決められるため、仕事や趣味、課外活動等、ライフスタイルに合わせて自分のペースで充実した学生生活を送りながら受講を進められます。

 朝活で集中学習	 スキマ時間で学習	 自分時間で学習	 カフェで気分転換
--	---	--	---

オンデマンド授業のPOINT

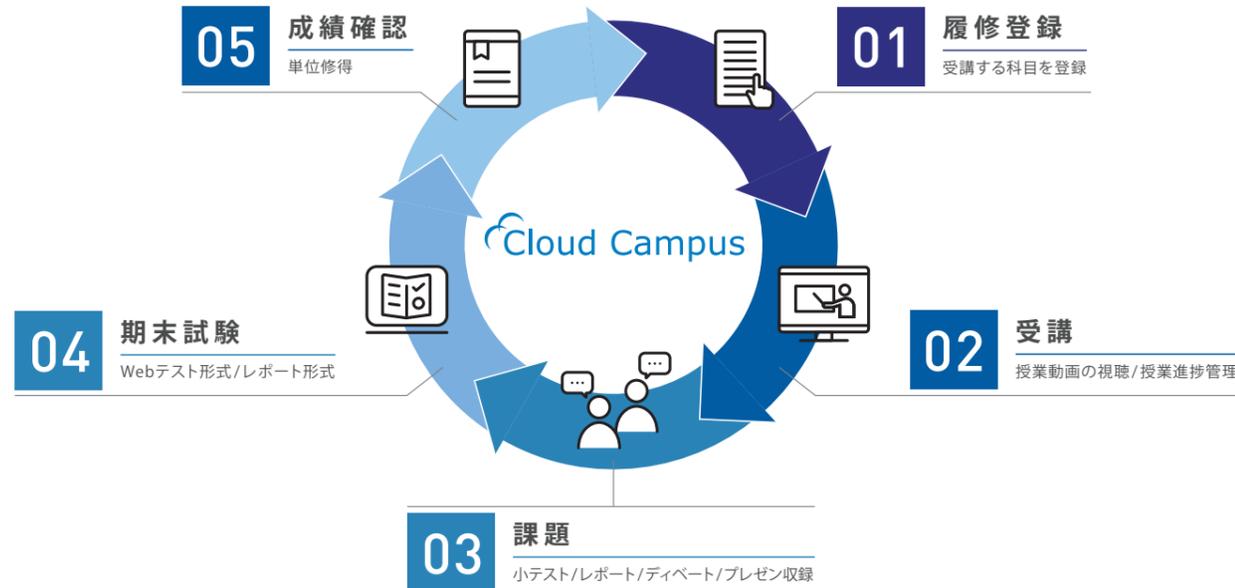
 時間割を自分で決めて受講スケジュールを自在に調整できる	 昼でも夜でも、好きな時間・場所で受講できる	 再生速度を調整して、自分のペースで受講できる
 早戻しできるから聞き漏らしなく受講できる	 質問はメールやQ&Aからいつでも行える	学内交流が活発であるため、仲間と楽しく学び合うことができます。▶P13

学びはひろがる。学びはつながる。場所も、世代も超えて

サイバー大学独自のeラーニングプラットフォーム

DEVICE FREE

時間や場所を問わない自由な学修環境を、本学が独自に開発したデバイスフリーのeラーニングプラットフォーム「Cloud Campus」によって実現しています。サイバー大学では、履修登録から日々の受講、レポート提出、試験、成績の確認まで、そのすべてを「Cloud Campus」で行います。



すべての受講者にやさしいシンプルな操作性

シンプルかつ直感的な操作ができるインターフェースが快適な受講を実現。受講する場所や時間も選びません。学習履歴はインフォグラフィックで可視化される等、うれしい機能で受講進捗の見える化を後押しします。高度なITリテラシーは不要で、誰でも分かりやすいインターフェースです。



最新のMicrosoft Office365やGoogle Workspaceが無料で使える

在学期間中は本学がライセンス契約する最新のOffice (Word・Excel・Power Point等)やGoogleWorkspace (Gmail・Googleドライブ等)を無料で使うことができます。

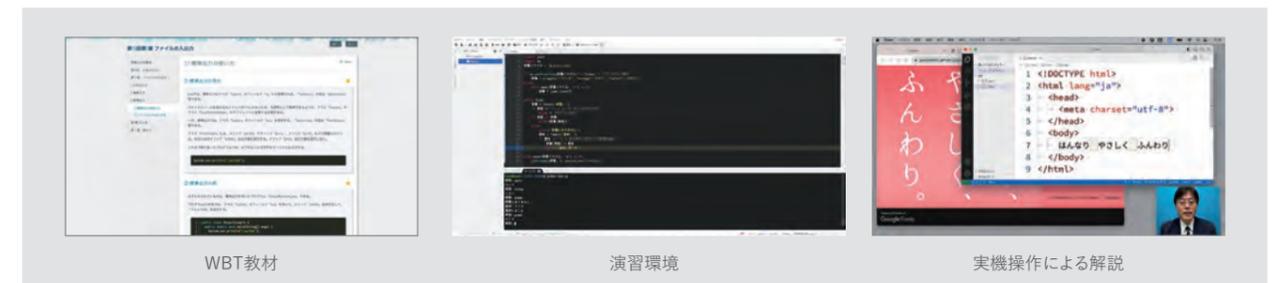


多様な授業コンテンツ形式

ビデオ+スライド形式のコンテンツをはじめ、授業の始めに独自の世界観を演出する特別コンテンツや、透明なガラス製のホワイトボードであるラーニンググラスを用いた数学系の科目等、授業内容に応じて多様な授業コンテンツ形式を用意しています。

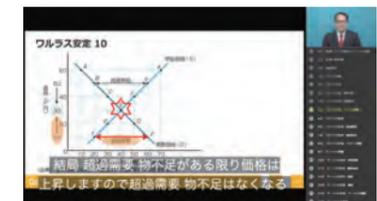


また、プログラミングの演習等で用いられているWBT(Web Based Training)教材や、プログラミング言語や開発内容に応じた演習環境等、手を動かしながら取り組む課題に最適な学修環境・教材を用意しています。



進む日本語字幕の付与

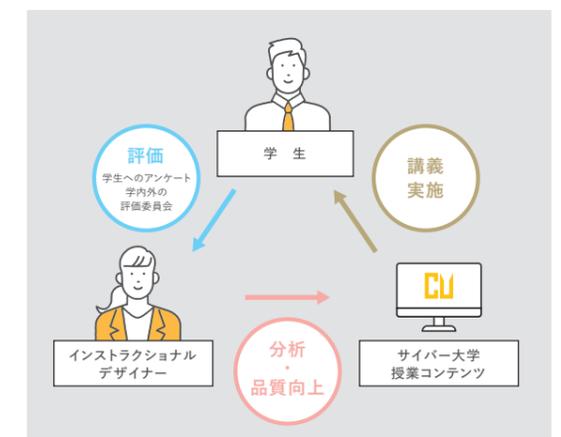
さらには授業コンテンツへの日本語の字幕挿入等、耳が不自由な学生の学びを支えるための支援を進めていて、4割程度の科目に対して字幕の付与が進んでいます。



学修効果の高い授業設計

一般に、授業内容がテーマの一部分のみに偏ってしまったり、説明が複雑になることも珍しくありません。また、授業や演習・課題の具体的な内容については担当教員の裁量に委ねられ、担当教員以外の確認が行われない場合があります。

サイバー大学の授業は、インストラクショナルデザインを取り入れ、学修内容における目標(ゴール)とそれを達成したかどうかの評価を明確に設定しています。そして、教員だけではなく専門のスタッフが内容を確認し、授業内容の構造化、画面のスムーズな展開、写真や図の効果的な挿入等の工夫を行っています。



オンライン学修の進め方

ONLINE LEARNING

1年を春学期(4月～)と秋学期(10月～)の2つに分けたセメスター制を採用しているため、半年間の学期ごとに授業が完結し、単位を修得することができます。



4年にとらわれない柔軟な学び

卒業の機会が年に2回(9月・3月)あるため、4年という期間にとらわれず、4年半で卒業することもできます。仕事との兼ね合いや在学中に実現したいことに応じて、柔軟に受講計画を立てられます。

在学年数

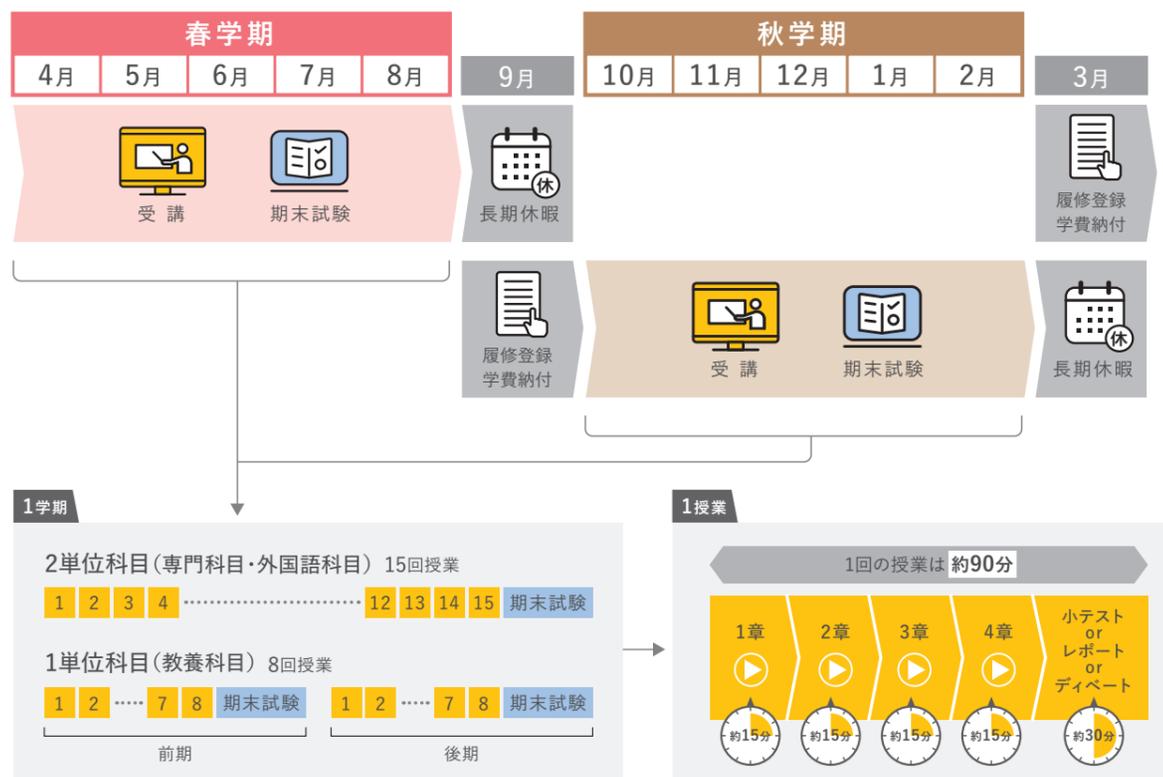


- ・正科生(1年次入学): 4~8年在学可能
- ・正科生(2年次編入学): 3~6年在学可能
- ・正科生(3年次編入学): 2~4年在学可能

早期卒業制度

成績が優秀な学生を対象に、通常の在学年数よりも短い「3年次」または「3.5年次」修了時点で卒業を認める制度です。各科目の成績がB以上、GPA3.5以上等の条件を満たすことで申請が可能です。なお、正科生(2年次・3年次編入学)の場合は、通常の在学年数より半年ほど卒業期間を早めることが可能です。

1年間の学修の流れ

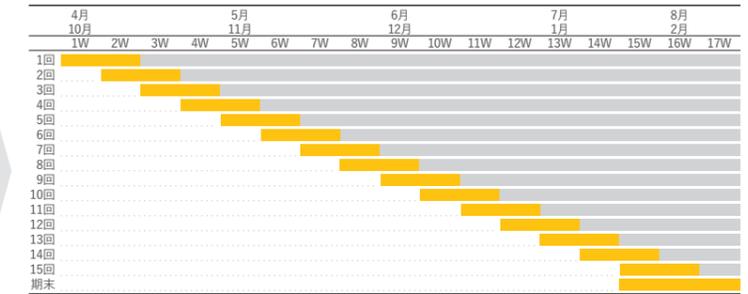


出席認定期間

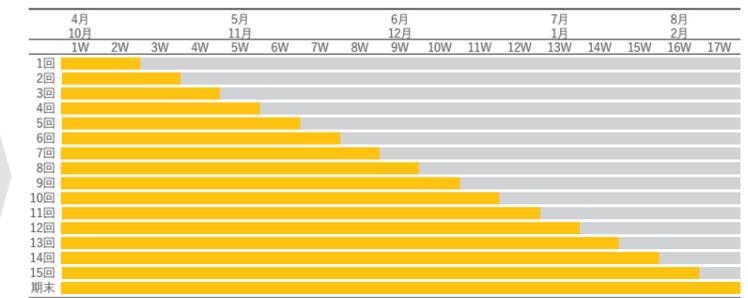
「出席認定期間」とは、当該期間内に受講することで「出席」とみなされる期間を指します。出席認定期間終了後の受講も認められますが、「遅刻出席」となり、課題の減点対象となります。なお、授業回数や講義形態によって、複数の出席認定期間が定められています。1・2年次で履修する多くの科目は一斉開講のため、時間に余裕があるときに集中的に学習を進めることが可能です。

全15回授業の場合

順次開講
通期15回
1週間に1回のペースで授業を開講



一斉開講
通期15回
学期初めに一斉に授業を開講



出席認定期間 (Yellow bar) 遅刻 (Grey bar)

成績評価

各回の受講と課題を進め、最後に期末試験を受験して、その結果と日々の成績が基準以上であれば晴れて単位修得となります。



各回課題の得点 + 期末試験の得点 = 成績

成績表示

	評点	グレード	グレード・ポイント
合格	90~100点	A	4pt
	80~90点未満	B	3pt
	70~80点未満	C	2pt
	60~70点未満	D	1pt
不合格	60点未満	F	0pt
棄権 (履修放棄申請が必要)	-	K	GPA計算対象外
単位認定 (単位認定申請が必要)	-	P	GPA計算対象外

GPA (Grade Point Average)

$$\frac{(A \text{ 修得単位数} \times 4 + B \text{ 修得単位数} \times 3 + C \text{ 修得単位数} \times 2 + D \text{ 修得単位数} \times 1)}{\text{総履修単位数 (Fを含む)}}$$

GPAはさまざまな制度において判断材料になります。

- ・学生表彰
- ・早期卒業制度
- ・就活インターン
- ・ゼミナール配属

※シラバスに記載されている評価配分に基づき、100点満点に換算して成績を評価します。
※期末試験の受験は必須です。受験しなかった場合、単位を修得することはできません。

「オンラインでも孤独じゃない」 双方向に交流ができる学習スタイル

INTERACTIVE

1

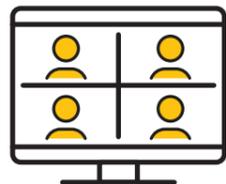


サイバー大学公式コミュニティ

在学生・卒業生・教職員が参加するコミュニティプラットフォームです。地域や年齢、立場を超えて、多様な価値観やバックグラウンドを持つ学生とのテキストコミュニケーションを楽しむことができます。



2



大学主催イベント

履修登録科目や卒業までの履修計画を相談できる履修相談会をはじめ、就職・転職・キャリア等に関するイベントをZoomで実施しています。双方向型での交流や最新情報の収集等を目的に、多くの学生が参加しています。



3



教員による交流会

授業の場で開催される交流会は、自由な会話や学び方・課題の相談、論文指導といった多岐にわたる目的に応じて開催されています。ゼミナールでは懇親会を行うクラスもあります。



4



学生有志や同窓会によるイベント

学生同士の勉強会、同じ趣味を持つもの同士の集まり、ハッカソンへの参加といった多様な交流が行われています。その他、学生有志や同窓会が主催するオフラインのイベントも開催されています。



PICK UP ▶

サイバー大学のリアルに迫る

学生の学びを支えるために多くの教職員が一丸となって業務に取り組んでいます。この動画シリーズでは、教職員の日常に密着し、サイバー大学の裏側をご紹介します。

サイバー大学
学生と教員の密接な
コミュニケーション

学生と教員の密接な
コミュニケーション

サイバー大学
授業サポートのリアル

授業サポートのリアル

サイバー大学
学生サポートの舞台裏

学生サポートの舞台裏

元日経トレンディ編集長
北村森教授
現場の最前線で活躍する
実務家教員に密着

現場の最前線で活躍する
実務家教員に密着

サイバー大学
授業制作の裏側

授業制作の裏側

高度IT人材を育む

IT総合学部

サイバー大学では勉学に意欲のある多くの人に幅広く質の高い学びの機会を提供し、「IT活用力」「ビジネス応用力」「コミュニケーション力」を身に付けた、社会の形成者として有能な高度IT人材を育成することをめざしています。

IT活用力

STEAM (Science, Technology, Engineering, Arts, Mathematics) の基礎学力を背景に、IT分野におけるさまざまな製品やサービスの根幹となる要素技術を理解し、必要に応じて実践的に活用することができる。

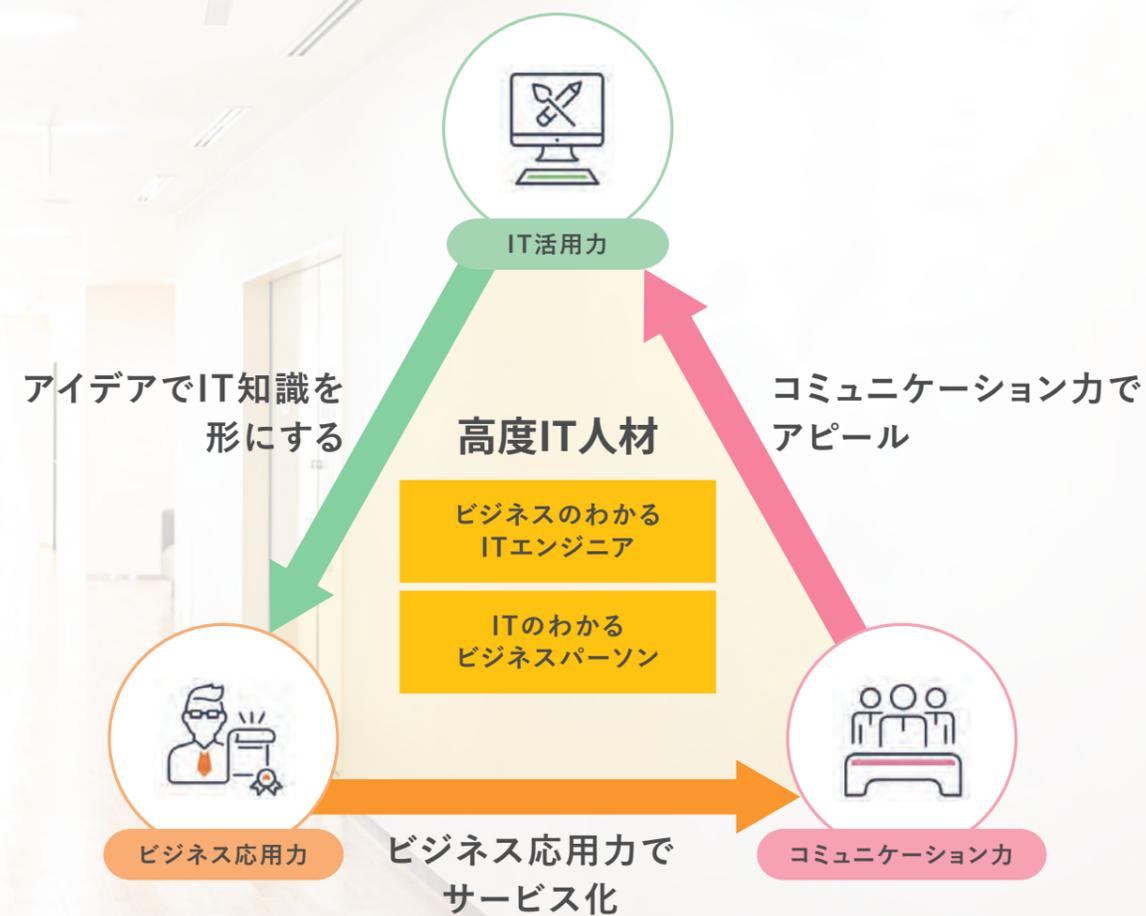
ビジネス応用力

急速に変化するビジネス環境を構造的に理解したうえで、自ら課題を抽出し、テクノロジーを活かした業務改善や新サービスの開発、ビジネスモデルの創出等、イノベティブな課題解決に導くことができる。

コミュニケーション力

情報を取捨選択しながら正確に読み解く力と、論理的思考に基づき表現する力を持ち、異分野・異文化の人材とも協働する対話力を駆使して、イノベーションの共創に必要なコミュニケーションができる。

Cyber University



第一線で活躍するエンジニアや起業家らが教える最先端の学び

社会から求められるITスキルが身に付くテクノロジー分野

ネットワーク

ネットワーク技術およびサーバー構築技術の基本を学び、Linuxの導入やシステム管理の実践的な操作を通して応用力を身に付けます。

セキュリティ

情報セキュリティ技術の利活用に必要な基本知識をはじめ、暗号、ハッシュ関数、擬似乱数生成等の基本概念や仕組みを学びます。

ソフトウェア

Webやインターネットに関する概念をはじめ、Webにおけるフロントエンドやバックエンド、フレームワークに関する技術を学びます。

AI

AIの概念、探索、知識表現や推論手法等の考え方を始め、PythonやR等のライブラリを用いた機械学習アルゴリズムを学びます。



教授
松田 晃一
MATSUDA Kouichi

担当教員からのメッセージ

みなさんはいくつCPUを身に付けていますか？電話、時計、ヘッドホン... 周りにはいくつCPUがありますか？現代社会はソフトウェアなしでは成り立ちません。AIが急速に進化する中、本学のPythonやAI関連科目は今日を生きる重要なスキルを身に付けるステップです。AIとソフトウェアの可能性を共に学びましょう。

ビジネスの最前線で戦う術を学ぶビジネス分野

生成AI活用

生成AIの基本や、プロンプト作成スキル、生成AIに関する倫理等を実践的に学び、AI技術をビジネスに応用する力を身に付けます。

管理

プロジェクトの計画立案、実行、評価、計画改善をはじめ、経営意思決定と業績管理に有効な原価計算・予算管理等の手法を学びます。

起業

起業に必要なビジネスの基本知識をはじめ、将来の収益事業を創造できるようになることを目的とした事業計画書を学びます。

経営

経営に必要な事業戦略・プロダクト創造・財務の基本知識をはじめ、プロダクトの価値を生み出すための実践方法について学びます。



教授
石川 秀樹
ISHIKAWA Hideki

担当教員からのメッセージ

ビジネスは「お金を稼ぐ」だけでなく、「価値を生み出す」ことで社会に貢献することです。理論を学ぶとビジネスの見え方が変わります。目的に応じて「起業」「管理」「経営」、さらに、これら3分野すべてに大きな影響を与える「生成AI活用」と合わせて4つのマイクロ credenシャルがあり、横断的に受講することが可能です。

豊かな人間力と課題解決力を養うための充実した教養・外国語のラインナップ

一般教養とリベラルアーツを学ぶ教養分野

アカデミックリテラシー

Office製品の基礎的な操作をはじめ、テキストを主体とした他者とのコミュニケーションや情報検索の手法等を学びます。

教養スタートアップ

キャリアデザイン・自然科学・人文科学・社会科学の教養知識を身に付け、批判的思考力、論理的思考力等の基礎を主体的に学びます。

アカデミックライティング

大学に相応しい正式な文書でレポートを作成することをはじめ、プレゼンテーションとその資料作成のスキルを実践的に身に付けます。

コミュニケーション

他者とコミュニケーションを取るうえでの注意点を多様な事例を通して学び、応用することができるスキル等を身に付けます。



教授
小野 邦彦
ONO Kunihiko

担当教員からのメッセージ

急激な社会環境の変化により、予測困難な時代に必要なのは、生涯学び続け主体的に考える力です。本学では変化する実社会を理解し考察するため、今必要な約60の教養科目を通じて職業実践力と幅広い教養の獲得を支援しています。学修成果を証明するバッジも用意しているので、楽しみながら挑戦し、成長の糧としてください。

国際社会に対応できる外国語分野

総合英語

多様な人々とコミュニケーションを取りながらビジネスを遂行するうえで必要となる、基礎的なレベルの英語を身に付けます。

中国語基礎

国内外の最新情報をうまく活用し、多様な人々と対面またはリモートでコミュニケーションを取りながら基礎的な中国語を身に付けます。

実践英語Ⅰ

多様な人々とコミュニケーションを取りながらビジネスを遂行するうえで必要となる、実用的なレベルの英語を身に付けます。

実践英語Ⅱ

多様な人々とコミュニケーションを取りながらビジネスを遂行するうえで必要となる、より高度なレベルの英語を身に付けます。



准教授
白須 洋子
SHIRASU Yoko

担当教員からのメッセージ

グローバル化の進展に伴い、外国語を効果的に活用することで、ITやビジネスの現場で活躍する機会が広がります。英語科目では、独自教材「CU ENGLISH」を使用し、「読む・聞く・話す・書く」のスキルを統合的に習得できるよう設計されています。また、マイクロ credenシャルにより、学修要件を満たすとバッジが取得できます。

IT総合学部のカリキュラム

マイクロクレデンシャルで始まる新しい学び

高等教育においては、学士号や修士号等の学位が卒業証書(マクロクレデンシャルに該当)で証明されるのに対し、マイクロクレデンシャルは「学習内容をより細分化した単位ごとの履修証明」を指します。本学では、履修内容を学習分野や難易度ごとに細分化し、さまざまなマイクロクレデンシャルを授与します。

従来の「IT総合学」の学士号を取得できる学位プログラムを維持しながら、開講科目を分野・レベルごとにグループ化し、グループ内のすべての科目に合格することで身に付けた学修成果をマイクロクレデンシャルとして認定します。ITとビジネスにおけるさまざまな専門分野について自身の修得目的や必要な知識に応じて、複数のマイクロクレデンシャルを組み合わせることで、多様性に富んだ学修者本位の学びを実現します。



マイクロクレデンシャルの組み合わせ例

Case 1

ビジネススキルを身に付けてマルチに活躍できるエンジニアになりたい

メインテーマ: ソフトウェア
サブテーマ: 経営

Case 2

情報セキュリティ担当としてスキルアップしたい

メインテーマ: セキュリティ
サブテーマ: ネットワーク

Case 3

スタートアップ企業を立ち上げて夢を叶えたい

メインテーマ: 起業
サブテーマ: AI, ネットワーク

Case 4

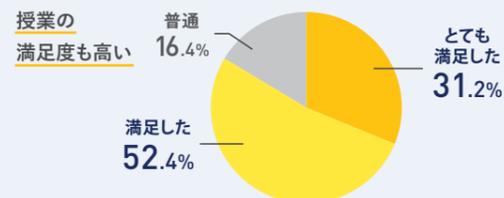
ステップアップのために上流工程に携われるようになりたい

メインテーマ: 管理
サブテーマ: ソフトウェア

TOPICS 授業を通して身に付いたと実感したもの

- 1 IT・ビジネスに関する専門知識が広がった …… 768人
- 2 論理的に考える力が身に付いた …… 659人
- 3 教養に関する興味の幅が広がった …… 580人

※2024年度 全学生アンケートより



学歴と学習歴を証明するオープンバッジ

認定されたマイクロクレデンシャルはオープンバッジで証明

認定されたマイクロクレデンシャルはオープンバッジによって授与されます。受領したオープンバッジは、専用のウォレット内で一元管理され、自身が身に付けた知識やスキルをデジタルで可視化し、第三者に証明することができます。



オープンバッジとは

オープンバッジは、国際的な技術標準規格に沿って発行される、生涯にわたって利用可能なデジタル証明・認証です。本学では、一般財団法人オープンバッジ・ネットワークが発行するオープンバッジを導入しています。ブロックチェーン技術が取り入れられており、実質的に偽造・改ざんが不可能なため信頼性の高いツールとして利用できます。

オープンバッジを取得するメリット



難易度に応じたレベル分け

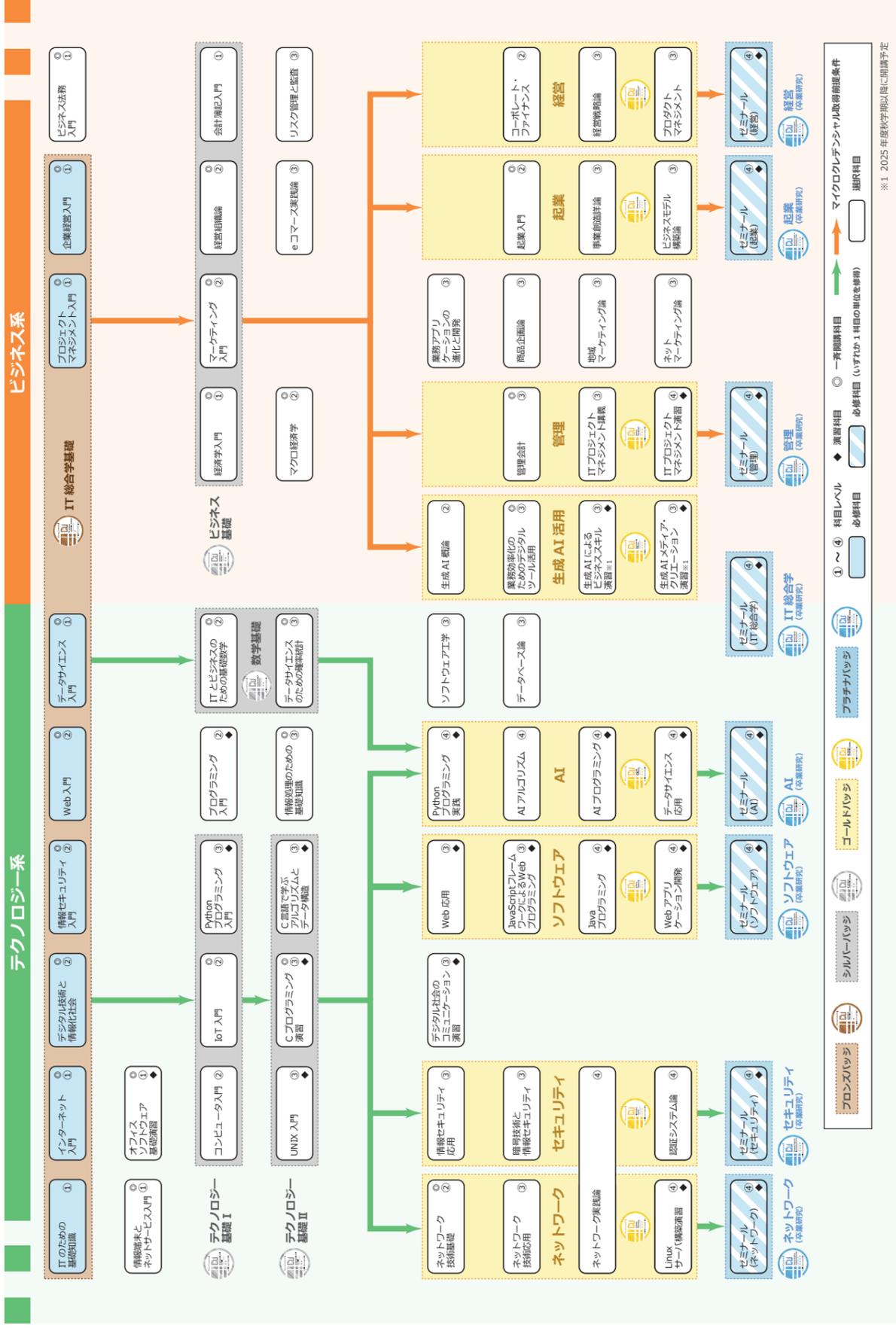
本学のオープンバッジは修めた各分野の難易度に応じて「ブロンズ」「シルバー」「ゴールド」「プラチナ」の4段階にレベル分けされています。上位のオープンバッジを取得するには、一部例外を除き、前提となるオープンバッジの取得が必須です。例えばゴールドバッジの場合はシルバーバッジの取得が必須で、シルバーバッジの場合はブロンズバッジの取得が必須です。なお、卒業生には本学のディプロマ・ポリシーに基づき、卒業要件を満たしたことを証明する「IT総合学士」のレインボーバッジが授与されます。



取得できるマイクロクレデンシャルの一覧は次のページへ

開講科目一覧：マイクロレディンシャル体系図（専門科目）

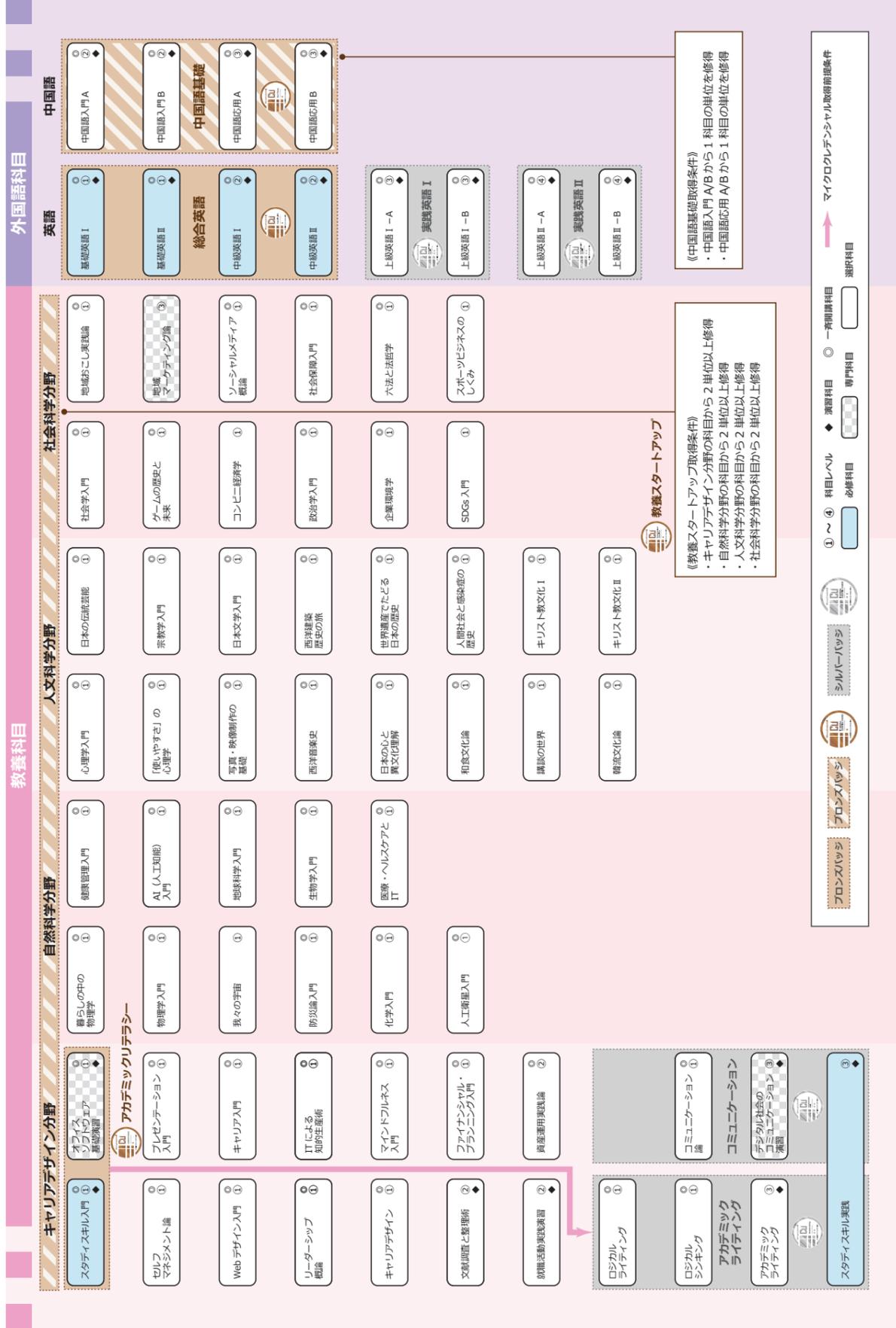
【2025年3月時点】



※1. 2025年度秋学期以降に開講予定

開講科目一覧：マイクロレディンシャル体系図（教養・外国語科目）

【2025年3月時点】



マイクロレデンシャルで実現できる 専門性と多様性の両立

学士号取得の過程で、マイクロレデンシャルの取得をめざすことができます。一つの分野に限らず、複数分野を横断的に学ぶことで、多様性に富んだ学修者本位の学びを実現します。掲載されている分野はあくまで例であり、いずれも自身が興味のある分野に置き換えて考えることができます。学生からは「知識やスキルの証明になる」だけでなく、「コレクションとして集めるのが楽しい」という意見も聞かれます。

Case 1

ひとつの
専門分野を
突き詰めたい!



選択する主な
マイクロレデンシャル



たとえばセキュリティエンジニアになるために「とにかく情報セキュリティについて学びを深めたい」という明確な目標があれば、その**目標に向かって一直線に学んでいくことができる学び方**です。

- こんな方に
オススメ
- めざす方向が明確に決まっている
 - 特定の分野を深く学びたい

〈取得できる主なオープンバッジ〉



・IT総合学基礎
・総合英語



・テクノロジー基礎I
・テクノロジー基礎II



・セキュリティ



・セキュリティ
(卒業研究)



・IT総合学士

Case 3

文理二刀流で
将来の選択肢を
広げたい!



選択する主な
マイクロレデンシャル



たとえばテクノロジー系のAIのプラチナバッジ取得をめざしつつ、ビジネス系のゴールドバッジ取得をめざすことで文理二刀流で学ぶことができます。異分野を幅広く学ぶことになるため、**より横断的な知識やスキルを身に付けることができます。**

- こんな方に
オススメ
- 二刀流のITエンジニアやビジネスパーソンをめざしたい
 - できるだけ多くの専門分野を学びたい

〈取得できる主なオープンバッジ〉



・IT総合学基礎
・総合英語



・テクノロジー基礎I
・テクノロジー基礎II
・数学基礎
・ビジネス基礎



・AI
・経営



・AI(卒業研究)



・IT総合学士

Case 2

複数のゴールド
バッジを取得して
専門学修分野を
広げたい!



選択する主な
マイクロレデンシャル



たとえばソフトウェア分野のプラチナバッジの取得をめざすだけでなく、その**周辺分野を深掘りして学修領域を広げることができる学び方**です。

- こんな方に
オススメ
- 高度な内容を学びたい
 - 周辺分野を幅広く学びたい

〈取得できる主なオープンバッジ〉



・IT総合学基礎
・総合英語



・テクノロジー基礎I
・テクノロジー基礎II



・ネットワーク
・セキュリティ
・ソフトウェア



・ソフトウェア
(卒業研究)



・IT総合学士

Case 4

ITとビジネスの基礎と
語学教養を中心に、
幅広い分野を
学びたい!



選択する主な
マイクロレデンシャル



たとえばITとビジネスの専門分野の学びは基礎に抑えつつ、その分一般教養やリベラルアーツを多く学ぶことができます。ITリテラシーや**実社会で役立つ課題解決能力、コミュニケーション能力を養う**ことができます。

- こんな方に
オススメ
- ITとビジネスをバランスよく学びたい
 - キャリア形成や社会で役立つ教養を身に付けたい

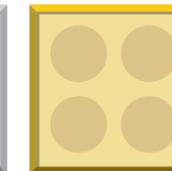
〈取得できる主なオープンバッジ〉



・IT総合学基礎
・アカデミックリテラシー
・教養スタートアップ
・総合英語



・テクノロジー基礎I
・ビジネス基礎
・アカデミックライティング
・コミュニケーション



・IT総合学
(卒業研究)



・IT総合学士

独自の発想でテーマを探究する卒業研究

サイバー大学での学修の集大成として、卒業研究科目の「ゼミナール」を全学生が履修します。卒研指導教員の指導の下で、専門性のある内容について調査や研究を行います。教員ごとにテーマが決められていて、各教員につき5~20名程度のグループ単位で開講されます。他の科目と同様に、時間と場所にとらわれずに指導を受けられるため、学生と教員は一堂に会さず、オンデマンド型(非同期型)で行います。

ゼミナールの特長

1. 輪講形式あるいは演習形式で実施

輪講は、通学制の大学における卒業研究でも頻りに用いられる形式であり、各学生が論文や書籍を読み、理解した内容を順に説明します。
演習形式の場合は、IoTのシステム構築やアプリケーション制作等、実際に手を動かしながら制作物を仕上げ、成果を発表します。発表のプレゼンテーションは動画で収録し、同じゼミ生に公開します。



※2024年度春学期 授業評価アンケートより

2. 少人数制だからこそ実現できる指導の手厚さ

Zoomを活用したリアルタイムのライブ指導を行う場合もあり、教員との距離が近い臨場感あふれる学びを体験できます。オンラインでも双方向のコミュニケーションが充実していることから、約9割の学生がゼミナールに満足しています。



3. ゼミ生同士でディスカッションを重ねる

ゼミナールは教員が一方に指導するのではなく、ゼミ生同士が学び合う形で行われます。各学生の発表を基にゼミ生同士でディスカッションを重ねることで、理解の向上をはじめ、論理的思考力、コミュニケーション能力の向上につながります。

場所や世代を超えて深まる学生同士の絆

通学制大学と比べて交友関係が希薄になりがちな通信制大学ですが、ゼミナールでのディスカッションやZoomを利用したリアルタイムの学習交流会を通して学生同士の絆が深まります。本学には多様なバックグラウンドを持った学生が在籍しているため、ゼミ生同士で異業種交流ができるだけでなく、未就業の学生にとっては社会人学生の知識や経験から学び得ることがたくさんあります。場所や世代を超えた友情は通学制大学では味わうことができない一生ものの財産です。



ゼミナールのテーマ例

テクノロジー系	ビジネス系
スマートフォンのアプリ制作	ICT活用による地方創生事業の事例研究
IoTシステム構築	マーケティング研究
人工知能の手法や応用事例の探求	地域のPR動画制作演習
情報セキュリティの設定演習	アントレプレナーシップの研究

卒業研究の主な研究タイトル

- Linux環境上でのC#を使用した数学の計算アプリの開発
- 決定木分析によるCBTA フレームワークに基づくパイロット訓練評価の標準化
- AI活用による部品照合時のヒューマンエラー撲滅のためのIoTプロトタイプシステム開発と評価
- Raspberry Piを使用した入退出管理システムの作成
- 若年層向けカウンセリングのためのLINEチャットボット:大規模言語モデルを用いた実装と評価
- Randloader: 配置ランダム化によるグローバル変数を標的としたデータ指向攻撃からの防御
- 英数字パスワードと日本語パスワードの記憶の定着の差異について
- 事業計画書 株式会社ほむすび
- 納骨堂事業計画書
- 地方における情報発信の重要性と可能性の研究~会津若松市と神山町のプロジェクトから~

卒業生のコメント

「私のIoTプロトタイプ構築法」 ゼミナールでIoTシステムの基本系を再現

鵜池 久弥さん (2022年度卒業)

ゼミナールでは、IoTのプロトタイプ(試作機)を製作しました。私はIoT初学者で電子工学の知識もなかったため、IoTシステムの基本系の再現をめざし「私のIoTプロトタイプ構築法」に取り組むことにしました。



「子どもがより良い将来選択をできるように」 キャリア教育をテーマに研究

野口 千里さん (2022年度卒業)

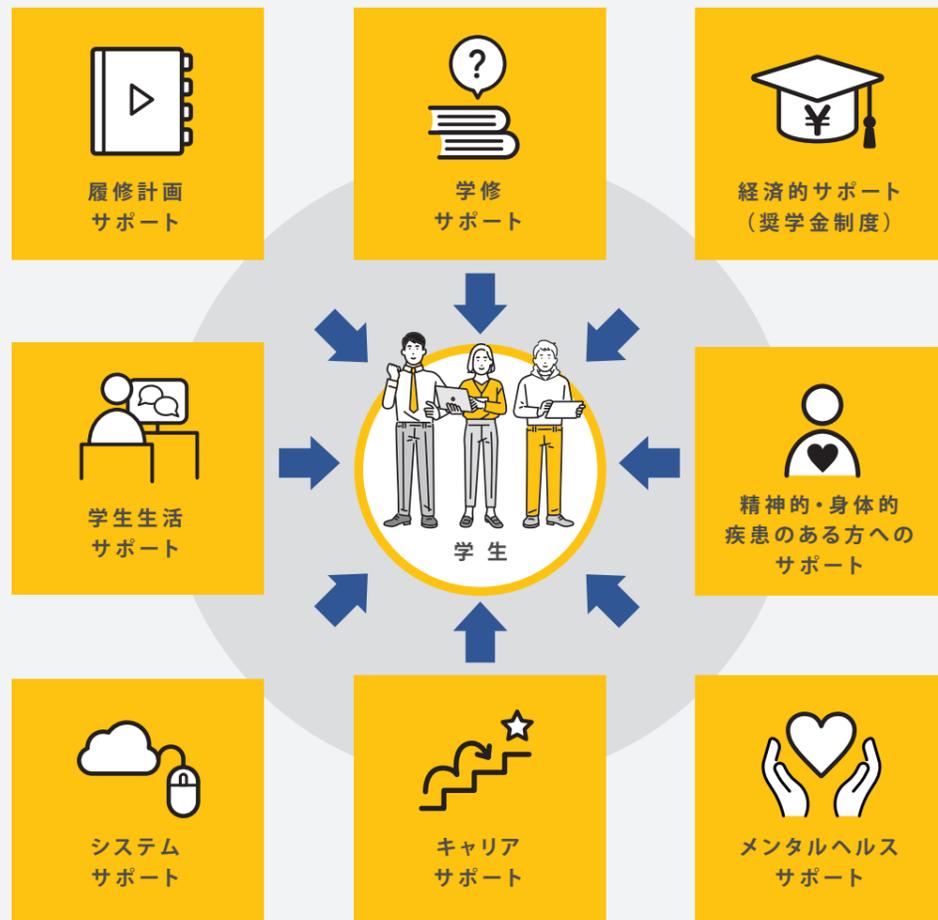
入学前にキャリアカウンセラーの資格を取っていたので、その経験を活かすことにしました。実際に親子で学ぶキャリア教育のワークショップを開き、参加者にアンケートを実施、子どものキャリア教育を行うことが、母親自身のキャリア観にいかにか影響するかをまとめました。



入学から卒業までを支える 360°サポート体制

SUPPORT

通信制大学では自律して学修を進めていく必要があるからこそ、学修やその先のキャリアを断念することがないよう、各分野の専門スタッフが連携して学生一人ひとりに寄り添ったサポートをしています。



学生生活・キャリア形成を支える4つのサポートセンター

サイバー大学では、入学当初から活用できる4つのサポートセンターを設置しています。各サポートセンターは、オンライン学修の開始時期、専門科目の学修段階、そして学業と就職活動の両立期間等、学生生活の各ステージで連携してサポートを行います。オンラインで学修進捗を共有し、個々の学生のニーズや将来の目標に合わせた継続的でタイムリーな支援を提供しています。

<p>授業サポートセンター ▶ P29~30</p>	<p>学生サポートセンター ▶ P29</p>	<p>システムサポートセンター ▶ P30</p>	<p>キャリアサポートセンター ▶ P35</p>
---------------------------------------	------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------

一人ひとりに目が届く手厚い修学指導

サイバー大学では、学生が学び続けるための充実したサポート体制が整備されています。教育の質や学生への個別指導の質を知るうえで重要なのが、修学指導者一人当たりの学生数です。サイバー大学では、修学指導者一人当たりの学生数は28.3人であり、学生一人ひとりをさまざまな修学指導者が連携しながら見守ることで入学から卒業までの学修を多方面から支援し、目が届きやすい体制を整えています。

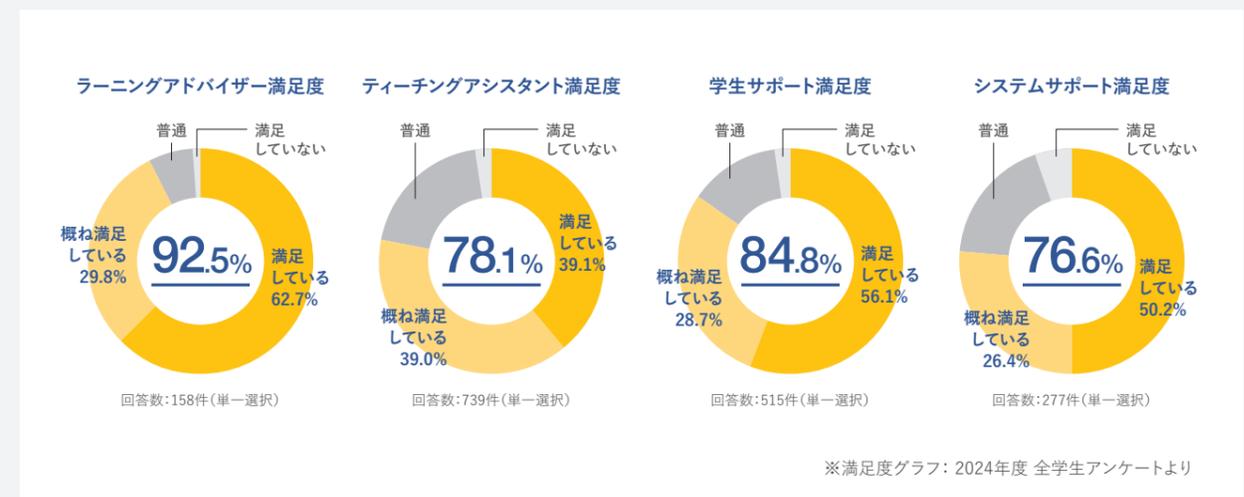


サポートの充実さを裏付ける高い継続率

一般的に履修継続率・卒業率が低いと言われる通信制大学の中でも高い継続率を誇ります。



サポートセンターの満足度



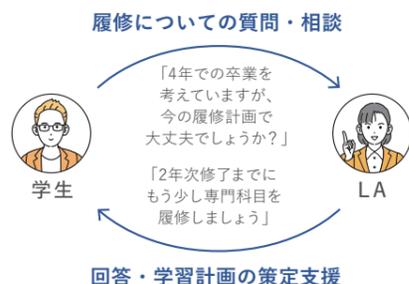
履修計画サポート

授業サポートセンター

履修計画や受講方法に関わる相談

一人ひとりの学生に対して、履修計画作成や学修方法の指導を行っている、入学から卒業までの学修相談役として、学生をサポートします。大学での学修支援を通じて、専門的知識及び能力を養成するため、原則としてIT総合学関連分野の修士号以上の取得者もしくは同等程度のスタッフで構成しています。

LA：ラーニングアドバイザー



主なサポート内容

<p>科目選択のサポート</p> <p>[学生からの主な相談内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆どの科目から学んでいけば良いのか迷っているので相談したい ◆講義内容や事前準備について確認したい 	<p>履修計画の相談</p> <p>[学生からの主な相談内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆この履修計画で卒業要件が満たせるか一緒に確認して欲しい ◆就職活動や早期卒業に向けて履修計画を見直したい 	<p>学修方法のアドバイス</p> <p>[学生からの主な相談内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆無理なく受講ペースを維持できる学修方法や時間割を検討したい ◆ノートテイクの方法を見直したい
---	---	--

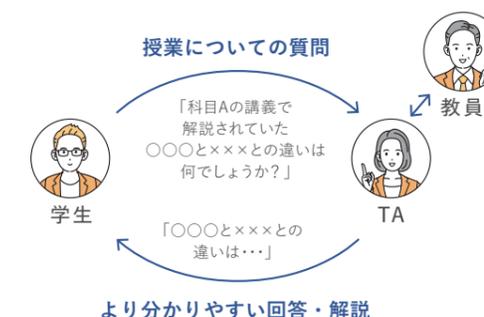
POINT

- ✓「メール・Zoom・電話」のいずれかの方法で1対1で相談できる
- ✓相談予約をいつでも(土日祝日を除く平日9~17時)フォームから申請できる
- ✓履修計画を立てるうえで必要な情報がそろった履修相談サイトで情報収集できる

授業に関わる相談

TA：ティーチングアシスタント

教員と学生の間に立って、学修がスムーズに進むようサポートしています。担当教員と連携しながら、授業に関する質問への回答や、出席状況に応じたアドバイスをしています。学修者への指導を教員と相互に補完しあえるよう、原則として担当教員と同じ分野を専攻する学士号取得者もしくは同等程度のスタッフで構成しています。



主なサポート内容

<p>受講ペースを維持するためのサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆講義日程や課題提出締切にあわせてリマインドメールの送信 	<p>科目内でのQ&Aサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆科目Q&A掲示板での質問対応 ◆個別メールでの質問対応 ◆原則24時間以内(土日祝日を除く)に回答 	<p>+αでの指導サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆時間外学修に役立つ資料の紹介 ◆各科目関連領域での最新情報の紹介
--	---	---

POINT

- ✓演習課題等の進捗にあわせて個別メールでも相談できる
- ✓教員とTAがしっかり連携しているため安心して相談できる
- ✓より身近な存在としてTAとコミュニケーションを取りながら理解を深められる

学生生活サポート

学生サポートセンター

学生の皆さんが充実した学生生活を送れるよう、学生生活全般の相談を電話やメールで受け付けています。また、学生の皆さんから寄せられる手続きや、大学の規則に関する「よくある質問」にはチャットボットも導入しています。

主なサポート内容

<p>学生生活全般の問い合わせ対応</p>	<p>各種証明書・学生証の発行対応</p>
<p>奨学金利用のサポート</p>	<p>履修登録手続きのサポート</p>
<p>学費支払いに関する相談対応</p>	<p>その他学生生活に関する相談対応</p>

学生生活全般の相談

学生: 「在学証明書の申請方法を教えてください。」

スタッフ: 「Cloud Campusの各種申請ページに掲載されている申請方法に沿って申請してください。」

不安や疑問を解消

システムサポート

システムサポートセンター

Cloud Campusをはじめ、学修で使用するシステムについて、操作に関する質問や不具合等に関する相談を電話やメールで受け付けています。パソコンに慣れていない方でも、安心してスムーズに受講できるようサポートします。

主なサポート内容

<p>「Cloud Campus」へのアクセス方法を案内</p>	<p>大学メールの使用方法を案内</p>
<p>顔監視画像の登録方法を案内</p>	<p>受講中の画面表示トラブルを改善</p>
<p>課題作成時のトラブルを改善</p>	<p>試験時のマイク、カメラトラブルを改善</p>

システム関連についての質問

学生: 「大学メールが開けないのですが、どうしたらよいですか？」

スタッフ: 「メールの初期設定は行っていますか？設定方法を案内します。」

不安や疑問を解消

学修サポート

サイバー大学では、多様な学生が安心して学べるように学修支援体制を整えています。

入学時には基礎教育教材や「スタディスキル入門」を通じて効果的な学びの基礎を身に付け、在学中は附属図書館の電子書籍サービス、教員によるオフィスアワーや資格取得に活かせる制度の活用等、学修にまつわる充実したサポートを受けることができます。

学習から遠ざかっている人でも安心して学べる基礎教育

基礎学力を支える教材

サイバー大学で学んでいくために必要となる基礎知識を確認するために、入学時に情報・国語・数学・英語の基礎力診断テストがあります。その結果を受けて、授業料無料のリメディアル教材を受講することができます。パソコンの基本的な操作方法や用語を学べる情報の科目があるほか、高校までの復習ができるため、学習から遠ざかっている方や自信がない方でも安心して学修に取り組めるようになっています。



教養科目「スタディスキル入門」

入学初学期に必ず全員が受講する科目です。本学で効果的かつ快適に学ぶための「いろは」を身に付けて、安心して大学生活をスタートしてもらうための内容が詰まっています。eラーニングで必要とされる基本的なスタディスキルを習得することができます。



資格取得サポート

資格取得に活かせる科目

ITパスポート、基本情報技術者試験、情報セキュリティ監査アソシエイト等の資格取得に活かせる科目があります。

資格取得奨励金制度

本学が指定する資格試験に合格し、所定の申請条件を満たした者に対して、奨励金を支給する制度です。

資格取得支援講座受講優待制度

外部のオンライン資格講座と提携して、受講料が割引される受講優待制度を用意しています。

資格取得奨励金制度の対象資格

資格 / 試験	レベル(IPA基準)	奨励金額
ITパスポート試験	レベル1	15,000円
情報セキュリティマネジメント試験	レベル2	25,000円
基本情報技術者試験	レベル2	25,000円
応用情報技術者試験	レベル3	45,000円

自ら進んで学べる環境

オフィスアワー

学生と教員とのコミュニケーションを充実させるために設けられた時間帯である「オフィスアワー」。授業や卒業研究に関する質問、大学生活や将来の進路に関する悩みの相談等、教員からさまざまなアドバイスを受けることができます。



図書館サービス

全国各地に在住する在学生に向けて、自宅からオンラインで利用できる電子書籍配信サービスを充実させています。また、附属図書館では主にIT・ビジネスに関連する書籍を所蔵しており、郵送での貸出も行っています。



主なサービス

- 蔵書検索システム(OPAC)**
 紙の書籍と電子書籍(Maruzen e Book LibraryとKinoDenで利用できる電子書籍)の両方が検索可能です。
- Maruzen eBook Library**
 学術図書を中心とした電子書籍の配信サービスです。2024年4月時点で1,000冊以上の電子書籍をオンラインで閲覧できます。
- KinoDen**
 学術図書を中心とした電子書籍の配信サービスです。購入した電子書籍はすべてオンラインで閲覧することができます。
- 日経BP記事検索サービス**
 日経BP社が発行する雑誌の記事を検索・閲覧できるサービスです。「日経ビジネス」をはじめとしたビジネスやパソコン等に関する専門誌約50誌を読むことができます。
- 日経テレコン21**
 日本経済新聞・日経産業新聞・日経MJ(流通新聞)をはじめとする「新聞・雑誌記事」、および企業の概要・財務内容・役員構成等の企業・人物データが検索できるサービスです。
- ジャパンナレッジ Lib**
 辞書・事典を中心としたデータベースです。実際に出版されている70以上の百科事典、国語辞典、外国語辞典、雑誌等を収録しており、これらのコンテンツをキーワードで横断検索できます。

POINT

- ✓ 各科目のシラバスに記載されている教科書・参考図書はすべて図書館で閲覧できる
- ✓ 「ITパスポート試験」「基本情報技術者試験」「応用情報技術者試験」等、各資格のテキスト・問題集を閲覧できる
- ✓ 自己分析、エントリーシートの書き方、SPI、面接対策等、就職活動関連の書籍を閲覧できる

サイバー大学は学認参加機関です

学術認証フェデレーション「学認」とは、各研究・教育機関(大学、出版社)等の情報サービスと学内のアカウント認証機能を連携させることのできる共通基盤サービスです。シングルサインオン(SSO)技術を利用し、大学図書館で提供している電子書籍、データベース等を、1つのID・パスワードで利用することができます。

参考: 国立情報学研究所 学術認証フェデレーションHP <https://www.gakunin.jp/>

皆さんの学びたい気持ちを支える 経済的サポート

SCHOLARSHIP

CHECK! サイバー大学の学費

サイバー大学の授業料は、履修する単位数に応じて変動する「単位制」です。一般的な「年額固定制」ではないため、履修単位数が少ない学期でもムダになる費用が発生しません。そのため、ご自身の都合や経済状況に合わせて履修する単位数を調整することができます。



※一部の科目を履修する際に、実習環境利用料が必要となります。
※上の金額以外に教材費、通信費、その他の費用が発生することがあります。

20単位履修する場合		
入学時の費用	入学検定料	¥10,000
	入学金	¥100,000
毎学期の費用	授業料(¥22,000×20単位)	¥440,000
	学籍管理料(1学期分)	¥12,000
	システム利用料(1学期分)	¥16,000
TOTAL 初学期の学費		¥578,000

通学制大学と同等の貸与が受けられる 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構の奨学金制度は、勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生・生徒が経済的理由により修学をあきらめることのないよう支援することを目的として国が実施する制度です。

詳しくはこちら



貸与奨学金<返済必要>

第一種奨学金 <無利子>

特に優れた学生で、経済的理由により著しく修学が困難な人に貸与します。

第二種奨学金 <有利子>

在学中は無利子、卒業後は年3%を上限とする有利子で貸与します。第一種よりもゆるやかな基準によって選考されます。

奨学金の種類	貸与額
第一種 (無利子貸与・月額)	20,000円 / 30,000円 / 40,000円 / 最高月額:54,000円
第二種 (有利子貸与・月額)	2万円~12万円までの間で1万円単位で選択
入学時特別増額 (有利子貸与・一時金)	10万円~50万円の間で10万円単位で選択 一時金として入学時のみ申請可能

給付奨学金<返済不要>

高等教育修学支援新制度の一部で、非課税世帯やそれに準ずる世帯等の経済的理由により著しく修学が困難な人に給付します。本学は高等教育の修学支援新制度の対象校で、同制度の授業料等減免も同時に対象となります。

	区分	給付額	減免額	
			授業料	入学金
一子・二子世帯	第I区分	51,000円/年	授業料 130,000円/年	入学金 30,000円/回
	第II区分	34,000円/年	授業料 86,700円/年	入学金 20,000円/回
	第III区分	17,000円/年	授業料 43,400円/年	入学金 10,000円/回
	第IV区分(理工農)	なし	授業料 32,500円/年	入学金 7,500円/回
多子世帯	第I区分(多子世帯)	51,000円/年	授業料 130,000円/年	入学金 30,000円/回
	第II区分(多子世帯)	34,000円/年		
	第III区分(多子世帯)	17,000円/年		
	第IV区分(多子世帯)	12,800円/年		
	多子世帯	なし		

※本学の給付奨学金は通信教育課程での認定のため、通学制大学に比べ少額となっています。
※入学金は採用された学期に入学金が発生している学生のみ対象となります。
※認定区分は日本学生支援機構の家計審査により決定され、毎年9月に見直しを実施されますので、10月に認定区分が変更となることがあります。
※本学での授業料等減免は年額の半分の金額を学期末に返金する運用となっています。
※国の定める資産要件を超えた場合は、支援の対象外となります。

奨学金申し込みから採用後までの流れ

奨学金の申し込みは大学を通して行います。奨学金申込者の学力・家計・人物の状況について大学および日本学生支援機構が審査を行い、採用候補者を決定します。奨学金の申込受付は3月末(春募集)、9月末(秋募集)頃に行います。



※高校生の場合、進学前に学校を通じて予約採用の申し込みができます。

CHECK! 充実した本学独自の奨学金制度

サイバー大学 修学支援奨学金

学習意欲のある成績優秀な学生が、経済的な理由により学習の継続に支障をきたすことなく学業に専念できるよう、翌学期の授業料を減免する本学独自の奨学金制度です。各学期に募集し、GPA、単位修得状況、日本学生支援機構の奨学金利用状況を基に審査を行い、支援対象となった学生については、諸条件や審査等、詳細は入学後にご案内します。

返済不要

書類提出不要
(申請手続きは必要)

1学期16万円分の
授業料を減免

サイバー大学 離島振興・地方創生奨学金

離島や対象地域の居住者が、本学での学びを活かして地域振興に貢献することを支援する制度です。離島や対象地域において地域活性化活動を行っている、あるいは、将来行う意欲がある方が応募できます。入学前に申請が必要です。

返済不要

入学金10万円が
全額免除

年間の学費を
20%~100%免除

サイバー大学 アスリート特待生奨学金

本学でITとビジネスを学びながら将来のキャリアパスを広げるとともに、各専門分野において既に顕著な実績を収めており、今後のさらなる挑戦と成長をめざして努力するアスリートの学生を応援する制度です。入学前に申請が必要です。

返済不要

入学金10万円が
全額免除

年間の学費を
20%~100%免除

遅刻による受講時
の減点が免除

(株)オリエンコーポレーションの提携教育ローン

オリコ学費サポートプラン

- ◆簡単な申し込み手続きで学費の分割納付が可能です。
- ◆ライフプランや家計の状況に合わせて返済方法が選択可能です。
- ◆オリコより本学に直接立替払いされますので、お振り込み等の手間がかかりません。

オンラインならではの 就職・キャリア支援

CAREERS

就職・キャリア支援の3つの特長

POINT 1 フルオンラインだからこそ 多様な学生の受け入れ体制

フルオンラインという環境のなかでさまざまな状況や立場、バックグラウンドを持つ学生が在籍しているからこそ、柔軟な就職・キャリア支援が必要不可欠です。本学では、年齢、地域、障がいの有無等を問わず、あらゆる人に対して万全な受け入れ体制と柔軟な支援を行う環境が整っています。



POINT 2 専門資格を持つスタッフが在籍 徹底したキャリアサポート

国家資格キャリアコンサルタントや公認心理師・臨床心理士等の有資格者が在籍する「キャリアサポートセンター」を設置しています。就職・転職に関わる相談や、応募書類の添削指導、面接の練習対応といった支援に比べ、キャリア全般に関するサポートを行っています。



POINT 3 卒業後も継続的に 学生のライフキャリア形成を支援

本学では、就職活動が盛んな3・4年次に限らず、1年次から将来のキャリア形成に向けた取り組みがスタートします。また、在学中のみならず卒業後も継続的な支援を行っており、学生一人ひとりの豊かなライフキャリア形成の実現に努めています。



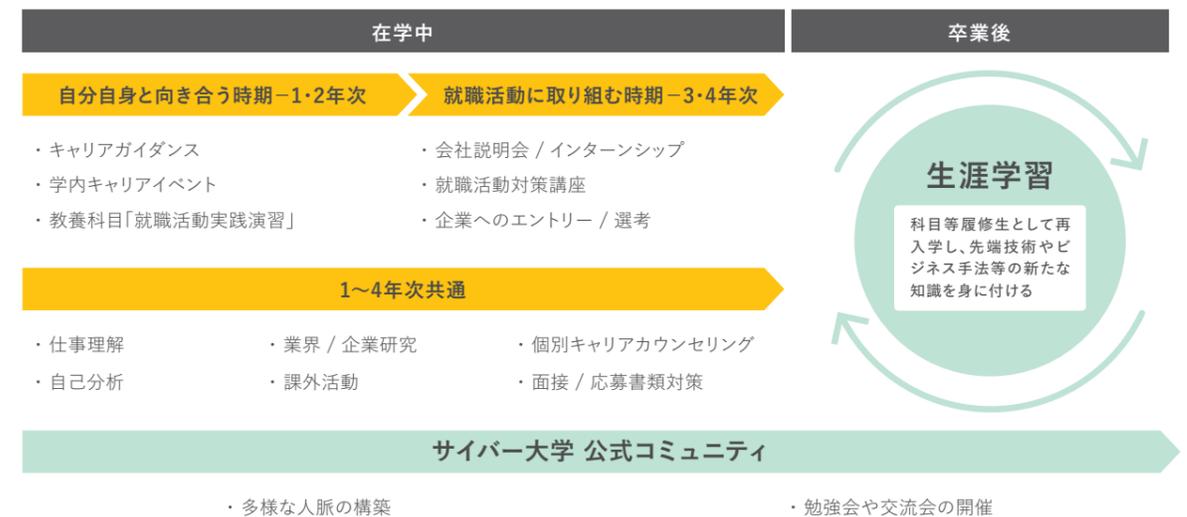
STAFF'S MESSAGE



キャリアサポート
センター担当者

キャリアサポートセンターでは、学生の皆さんが「自身の長手を理解し、将来どうなりたいのかを考え行動すること」をサポートしています。就職活動全般にわたる相談対応・対策指導をはじめ、人材紹介会社と連携したキャリアカウンセリングや求人紹介等を通じて、就職・転職活動を、特定の期間だけ意識的に取り組むのではなく、皆さんの日々の生活やキャリアの延長線上にあるものです。活躍したいフィールドを自分の手で掴み取り、夢・目標を実現するために、一緒に取り組んでいきましょう。

これから就職をめざす学生のキャリア形成の概要



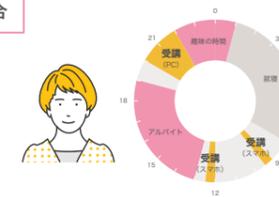
卒業後の継続的な支援として、希望者は卒業後も大学公式コミュニティを利用できるほか、一部のキャリアイベントへの参加も可能です。

1・2年次の動き方

幅広い分野の学修やさまざまな経験を通じて、自分自身の興味・関心に気付き、自分に合った進路選択ができる素地を養っていきます。平日の日中の時間を活用できる本学での学生生活の特性を活かして、在学中から企業での長期間の就業体験に取り組む学生も数多くいます。

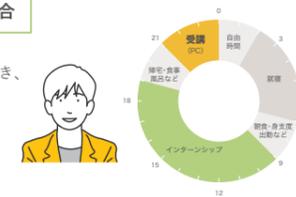
専業主学生 Aさん(19歳)の場合

アルバイトと趣味の時間も大きく取りつつ、**朝昼晩にバランスよく受講。**



専業主学生 Bさん(21歳)の場合

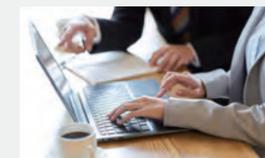
日中は企業のインターンで働き、経験を積んでいる。**夜、集中的に受講。**



3・4年次の動き方

3年になると、いよいよ就職活動が本格化します。学内で開催されるキャリアガイダンスで就職活動の進め方を学んだうえで、インターンシップや会社説明会に参加していき、入社を希望する業界や職種を明確化していきます。この時期は多くの学生がキャリアサポートセンターのスタッフと個別面談を実施し、一人ひとりの状況に合わせた準備を進めていきます。

PICK UP



キャリアガイダンス

初めて就職活動をする学生向けで、大学4年間の中で取り組むことをはじめ、仕事や社会はどういうものなのかを学びます。大学生活に目標を持って主体的に取り組めるよう、準備を進めます。



インターンシップ

興味のある企業で実際の業務や働く環境を体験する制度です。数日間のグループワークや、数か月にわたってアルバイトとして実務を担当する経験を通じて、働くイメージを具体化します。



就職活動実践演習

本科目では、就職活動の基礎知識習得をめざします。自己PR文の作成や模擬面接等の演習を通じて、自分の価値観や強みを明確にします。



個別キャリアカウンセリング

就職・転職に関わる相談や、応募書類の添削指導、面接の練習対応等、オンラインで個別にします。些細な悩みや不安な顔を合わせて相談することができます。

社会人学生向けのキャリア支援

本学では、在学中・卒業後に転職あるいは再就職を希望する社会人学生のサポートを行っています。学生の皆さんのご要望に応じて、連携している転職支援企業等を通じて、さまざまな業種・職種の求人情報をワンストップでご紹介しています。また、どんな仕事が自分に向いているか悩んでいる方向けに、一人ひとりに寄り添ったキャリア相談も受け付けています。

POINT 1

キャリアアップ 転職のサポート

大手IT企業や外資系企業をはじめ、ミドルクラスからハイクラスの求人をご紹介します。

POINT 2

多様な 働き方サポート

IT分野に特化している学生のために、多様な働き方の実現をサポートしています。

POINT 3

ソフトバンクグループ 連携就職支援制度

ソフトバンクのグループ企業への中途入社選考プロセスを一部優遇する制度です。

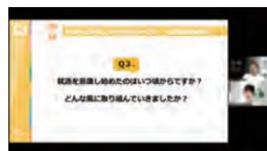
充実したキャリア支援イベント

キャリアサポートセンターでは、大学主催のイベントをはじめ、外部連携機関と共同で行うセミナーやイベントを年間60回程度開催しています。多様な学生のニーズにあわせて行うことで、皆さんのキャリア形成を後押ししています。

キャリア支援イベントの一部をご紹介します

■ 早期内定獲得した先輩に聞く！就職活動体験記

「サイバー大学生の就職活動の実体験・企業からの評価が聞きたい」という声にお応えするイベントで、早期に内定を獲得した先輩学生の普段の学生生活や就職活動の進め方について知ることができます。



■ サイバー大学で広がる私の“ワークライフキャリア”

「社会人学生の学生生活やその後のキャリアについて聞きたい」という声にお応えするイベントです。多様なキャリアを歩んできた卒業生が登壇し、これまでの人生の変遷と、本学での学びを通じて得られたご自身の変化について、ライフラインチャートを用いてご紹介します。



■ IT/デジタル業界の仕事

教養科目「就職活動実践演習」を担当する廣岡マヒコ先生が登壇する業界研究セミナーです。プログラマー、SE、Webディレクターを経て、現在IT業界での社員採用・人材研修にも携わっている教員の実体験を基にした、分かりやすくも業界内のリアルを紐解く内容で解説します。



大学院への進学支援

本学で学び得たITやビジネスの知識・スキルに磨きをかけて高い専門性を身に付けたい、より実践的な技術を学んでビジネスに応用したい等、本学での学修体験を通して培われた学習習慣・学習意欲を持った学生の卒業後の進路として、大学院が選ばれています。より多くの学生の進路を叶えるために、MBA（経営管理修士）の取得をめざす「SBI大学院大学」等と提携しています。海外の大学院への出願に必要な推薦状作成についても、卒業研究の指導教員が個別に支援しています。

海外の大学院への
進学実績も増加中



キャリア支援の特色ある取り組み

学生のチャレンジを後押しする支援

サイバー大学には、決められた時間割が存在しないため、授業受講のスケジュールや、学生生活の過ごし方を自由に決めることができます。積極的に学生交流を深める学生やいち早く社会に飛び出して、自分の実力を試そうとする学生もいます。キャリアサポートセンターでは、自分自身のキャリアの選択肢を広げようと考え、新たな一歩を踏み出す皆さんのチャレンジを全力でサポートしています。



サポートを利用した学生の声

茂木 慎之輔さん

場所や時間を問わずに受講できるので、日中はインターンシップに参加し、夜間に授業を視聴する等の方法で学習を進めていました。就職活動は、インターンシップ先での選考や、企業から学生にオファーが来る逆求人を中心に進めました。インターンシップでの経験はもちろんですが、大学の授業で実践的な内容を学んだという点で即戦力の人材だと評価され、第一志望の会社から内定をいただきました。

記事の全文は
こちら



コミュニケーションや社会に出ることに不安のある学生への支援

サイバー大学では自分の好きな場所や時間に学べるからこそ、不自由なく過ごせる一方で、卒業後のことを考えると「自分の意見をうまく伝えられるだろうか」「円滑な人間関係を構築できるだろうか」と社会に出ることへの不安やコミュニケーションへの課題を感じ、自信を失ってしまう学生が少なくありません。そのような不安に寄り添い、それぞれのペースで社会に出るための一歩を踏み出せるように、コミュニケーションについて学べる機会の提供や、個別面談を通じてサポートしています。



サポートを利用した学生の声

普輪崎 冴子さん

私はこれまでやりたいことや、やるべきことができない生活が続いていたため、自分に自信がありませんでしたが、キャリアサポートセンターの方との面談を通して、自己受容の大切さに気がきました。「当たり前のことができたときに、自分を褒めるといい」というアドバイスをいただき、それを実践してみたことで、ありのままの自分を受け入れられるようになりました。その経験から少しずつ自信が付き、将来を前向きに考えることができています。

記事の全文は
こちら



障がい学生へのキャリア支援

障がいのある方のキャリアは社会の変容とともに多様化が進んでいます。だからこそ、働き方の「イメージ」や「枠」とらわれるのではなく、一人ひとりの叶えたい未来を軸としたキャリア支援を行っています。障がいの有無にかかわらずどんな人にも得手不得手があり、それが個性でもあります。そうした個々人の個性を活かし、できないことにフォーカスするのではなく、強みや得意なことに光を当てた、自分らしいキャリアの実現と一緒に考え、サポートしています。



サポートを利用した学生の声

齋藤 弥生さん

最初は自分だけで就職活動をしていたこともあり、障がいについての伝え方や自己PRの作成に悩んでいました。また、新卒採用では在宅勤務が難しく、障がい者採用の職種も限られていて、自分には職業を選ぶ権利がないのではないかと不安な日々を送っていました。しかし、キャリアサポートの方からアドバイスをいただき、大きな気付きと学びを得ることができました。キャリアについて相談できて、並走してくれる方の存在は非常に大きかったです。

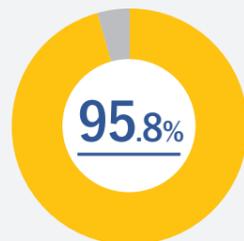
記事の全文は
こちら



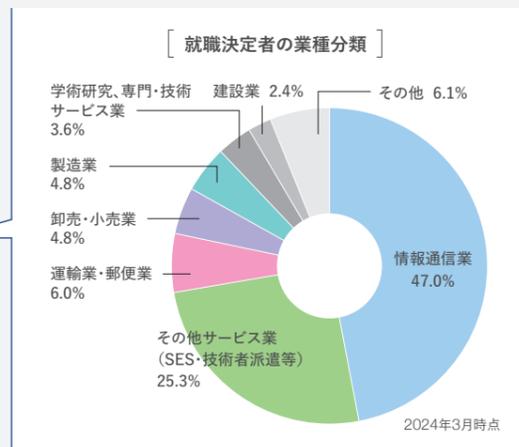
卒業後の進路・主な就職先

就職率

2024年3月の
卒業生(新卒のみ)の就職率
(前年比:0.8pt増)



※本学の2024年3月の卒業生のうち卒業時24歳以下の学生を対象に集計
※全年代を対象とする就職率は91.6%(前年比:2.5pt増)



主な就職先 (2021年3月～2024年9月の就職先から一部抜粋)

情報通信業 Axibit株式会社 CARTA HOLDINGS, Inc. CTCテクノロジー株式会社 GMOインターネット株式会社 Hellohas Robotics株式会社 NECネットエスアイ・サービス株式会社 NSW株式会社 NTT 東日本 SB C&S株式会社 SBテクノロジー株式会社 SCSK株式会社 Sky株式会社 TDCソフト株式会社 VALEUR, INC アルテリア・ネットワークス株式会社 タクト株式会社 チームラボ株式会社 ノックスデータ株式会社 パーソルプロセス&テクノロジー株式会社 ベース株式会社 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 株式会社NTTデータ ウェーブ 株式会社NTTデータCCS 株式会社SKB 株式会社ZOZO 株式会社アルファシステムズ 株式会社エイチーム 株式会社ジーケーライン	株式会社じげん 株式会社システナ 株式会社システムサポート 株式会社システムソフト 株式会社ネスコ 株式会社パロス 株式会社ファインデックス 株式会社第一コンピュータサービス 合同会社DMM.com 日本電気通信システム株式会社 富士ソフト株式会社 富士テレコム株式会社	学術研究・専門・技術サービス業 デロイトトーマツコンサルティング合同会社 株式会社サイバーエージェント
建設業 アプロ通信株式会社 株式会社ミライト	医療、福祉 sompoケア株式会社 株式会社ニチイ学館	公務 厚生労働省 北海道警察
金融・保険業 株式会社アプラス	宿泊業、飲食サービス業 マンテンホテル株式会社	生活関連サービス業、娯楽業 株式会社オリエンタルランド
卸売・小売業 株式会社ZOA 株式会社アップビート 株式会社レスターホールディングス	電気・ガス・熱供給・水道業 九州テクニカルメンテナンス株式会社	不動産業、物品賃貸業 イオンディライト株式会社
運輸業・郵便業 ダイセーロジスティクス株式会社 西日本旅客鉄道株式会社	製造業 UTエム株式会社 トヨタ自動車株式会社	

産業界全体でDXが加速しているため、デジタル人材の需要が高まっており、「情報通信業」と「その他サービス業 (SES等)」を中心にさまざまな業界で「IT技術者」として採用されています。

就職先一覧はこちら▶



卒業生の継続学習を支援

卒業生向け科目等履修生受け入れ制度

本学を卒業後に科目等履修生として再入学できる制度です。卒業後も継続して本学の科目を学ぶことができるため、新たな分野の知識の習得やキャリア形成のための学び直しの場として活用することができます。在学中と同様に受講・課題・期末試験等に取り組むことで高い学修効果を上げ続けられ、単位修得とオープンバッジの取得や更新ができます。



POINT

1 講義・演習内容がアップデートされた最新科目を履修できる

サイバー大学の科目は講義・演習内容が一定期間で更新されます。正科生として在学時に未履修だった科目や卒業後に興味関心を持った科目、すでに履修済みの科目についても、最新の内容で再履修することができます。学習資料をダウンロードして利用することができるほか、教員・ティーチングアシスタント(TA)からの学修指導や、発展的な学びを助けるための図書館サービス等の手厚い学修サポートを受けられます。

✓ 卒業後に興味関心を持った科目を履修できる

✓ 合格することで単位を修得できる

✓ 手厚いサポートを受けながら受講できる

2 在学中に取得できなかったオープンバッジを取得できる

卒業までに取得要件を満たせなかったマイクロレデンシャルとそのオープンバッジがあった場合でも、卒業後に科目等履修生として再入学することで、プラチナ・レインボーバッジ以外のオープンバッジ取得をめざすことができます。科目の更新に合わせてオープンバッジもアップデートされるため、先端技術やビジネス分野の新たな知識を身に付けると同時に、最新のオープンバッジ取得をめざすことができます。

✓ 科目等履修生としてオープンバッジを取得できる

✓ 在学時の修得単位と合わせてオープンバッジ取得をめざせる

✓ 先端技術やビジネス分野の新たな知識習得につながる

3 授業料以外の各種費用が全額免除される

卒業生特典として、学籍管理料やシステム利用料等の各種費用が免除されるため、必要な学費は授業料のみとなります。
※科目によって実習環境利用料が必要になる場合があります。

- 入学検定料
- 登録料
- 学籍管理料
- システム利用料

免除

必要な学費は授業料のみ

制度を利用して学ぶ学生の声

卒業生科目等履修生

鈴木 秀和さん 情報サービス業 / インフラエンジニア

卒業後に川原学長から「卒業生でも科目等履修生として学べる仕組みがある」とお聞きし、再入学を決意しました。現在、科目等履修生として教養科目を中心に投資の新たな視点や医療分野のIT活用について学んでいます。今後はITセキュリティやマネジメントも学び、オープンバッジの取得をめざします。将来は海外のITエンジニアとともに働ける環境づくりを含め、会社経営に携わることも視野に入れています。「時間は自分でつくるもの」の姿勢でこれからも仕事と学びを両立して自分をブラッシュアップし続けていきたいと思っています。



「Times Higher Education Online Learning Rankings 2024」で日本から唯一のランクイン!

サイバー大学は世界の大学ランキングを公表する、Times Higher Education (THE)が実施したオンライン教育ランキング2024において、日本から唯一ランクインし、ブロンズ評価を獲得しました。本ランキングはTHEがオンライン教育の質を多角的な視点から評価する初の試みであり、サイバー大学は特に「アウトカム」の分野で高い評価を受け、世界ランキング5位に位置づけられました。この成果は、学生の履修継続率の高さやアンケート結果による満足度の高さに裏付けられています。



THE Online Learning Rankings とは?

以下の4つの観点で世界中の教育機関のオンライン教育プログラムを評価しています。

リソース

オンライン教育に投資される財政や教員の指導体制

エンゲージメント

学生同士の協働作業や学生と教職員との交流の度合

アウトカム

学生の履修継続率、大学への満足度等、教育がもたらす具体的な成果

環境

学生や教職員の多様性、学習資源の充実度

第2回オープンバッジ大賞において日本の教育機関として初めてかつ唯一の大賞(最高評価)を受賞

サイバー大学は、一般財団法人オープンバッジ・ネットワーク主催の「第2回オープンバッジ大賞」において最高評価の「大賞」を受賞しました。受賞対象は本学が2024年4月に刷新したマイクロクレデンシャル制のカリキュラムに連動するオープンバッジです。

教育機関だけでなく、企業や官公庁、自治体を含む300団体を超える加盟会員のなかから、国内の教育機関が「大賞」を受賞したのは本学が初めてです。



オープンバッジ大賞とは?

オープンバッジの取り組みのなかで特に優れたものを選出するアワードで、一般財団法人オープンバッジ・ネットワークが主催しています。オープンバッジは、知識、スキル、経験をデジタルで証明する世界標準規格として、教育、研修、学習のエコシステムを形成するうえで重要なツールとなりつつあります。このアワードは、特筆すべき事例を表彰することで、オープンバッジのさらなる普及と活用促進を目的としています。

通信制大学初の数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定校

サイバー大学では、本学の強みを活かした教育分野として文部科学省が推進する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」に認定されたプログラムを提供しています。このプログラムを通じて、数理・データサイエンス・AIに関する知識や技術の習得に向けて学習を進めることができ、修了者には知識・スキルを証明するマイクロクレデンシャルをオープンバッジで授与しています。数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定バッジプログラムには、初学者がはじめて取り組む「AIリテラシーレベル」と、基礎的な理解が進んだのちに学習できる「AI応用基礎レベル」の2種類があり、いずれも通信制大学で最初に文部科学大臣から認定を受けています。「AIリテラシーレベル」は、2024年8月に全国の認定プログラムのなかで特に優れたプログラムと評価され、通信制大学で唯一「リテラシーレベル プラス」として選定されました。



数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定バッジ



〈認定の有効期限〉・リテラシーレベル:令和8年3月31日まで
・応用基礎レベル:令和9年3月31日まで

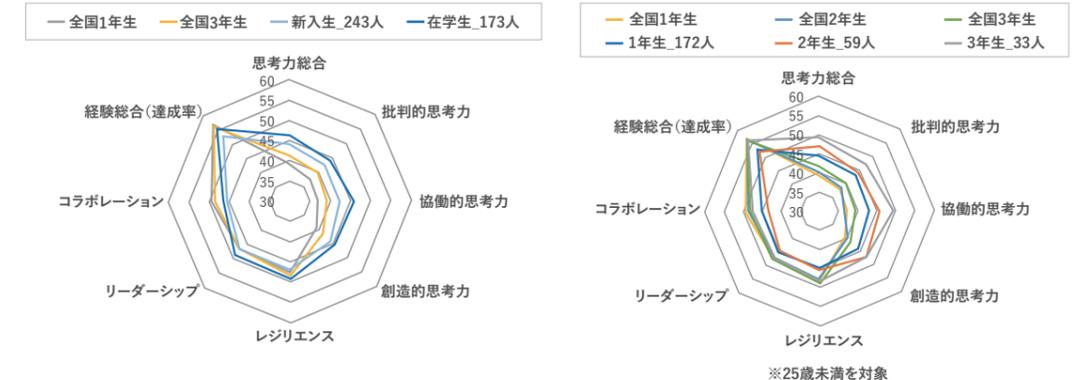
能力測定テスト「GPS-Academic」から見るサイバー大生の高い問題解決能力

サイバー大学では、学生の「問題解決力」の測定を通じて成長を可視化し、自身の強みや特徴を日々の学修や将来に活かしてもらうために、ベネッセi-キャリアの能力測定テスト「GPS-Academic」を導入しています。最新の2024年度春学期の受検結果では、新入生に比べ在生の方が各分野における思考力やリーダーシップ・レジリエンスといった姿勢・態度等のスコアが向上し、特に思考力系のスコアは全国平均よりも高い数値が示されました。また、25歳未満の在生学生においても、学年が進むごとに着実な成長が見られ、本学での学修経験が活かされていることが示されました。

成長実感

本学 **85.4%** > 全受検者 **81.2%**

受検結果(新入生と在学生の平均スコアの比較)



※株式会社ベネッセ i-キャリア「GPS-Academic」全受検者集計(2024年5月31日時点)のデータに基づいています。
※本学の「GPS-Academic」の結果の一部を抜粋して紹介しています。
※本学の2024年度の受検対象は正科生、243人が受検しました。

入学区分

サイバー大学には、入学の目的や最終学歴に応じて「正科生(1年次入学)」「正科生(編入学)」「科目等履修生」の3つの入学区分があります。

正科生(1年次入学)

高校卒業以上の方が学士号の取得をめざす入学区分です。最終学歴が高校卒業または高卒認定試験合格者は、1年次から入学できます。

例えばこんな方が対象です

高校卒業後、
本学に進学したい方

最終学歴が
高校卒業以上の方

● 卒業までの流れ

↓ 入学



在学年数:4年以上(最大8年まで)

正科生(編入学)

他大学や短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)を卒業した方(卒業見込みを含む)や、他大学に1年以上在学し、退学された方(退学予定含む)を対象に、正科生の2年次または3年次として入学し、学士号取得をめざす入学区分です。

例えばこんな方が対象です

他大学・短大・高専・専門学校・
高等学校専攻科を卒業された方

他大学を退学された方

● 卒業までの流れ (4年間フルではなく、2年次・3年次からのスタート)

2年次編入学 ↓ 入学



卒業に必要な単位数:94単位～
在学年数:3年以上(最大6年まで)

3年次編入学 ↓ 入学



卒業に必要な単位数:72単位～
在学年数:2年以上(最大4年まで)

正科生として1年次入学した場合は、卒業要件である124単位を本学で修得する必要がありますが、編入学の場合は、以前に在籍していた学校で修得された単位を本学の科目を履修したものとみなし、最大52単位が包括単位認定された状態で入学することができます。



各入学区分の詳細や出願時に必要な提出書類等、詳細は同封の募集要項をご確認ください。

卒業に必要な単位数と内訳



科目等履修生

大学入学資格の有無に関わらず、満15歳以上の方で、今必要な知識・スキルの習得や興味のある分野の知識・教養を深めるため、受講したい科目の一つまたは複数選んで履修する入学区分です。高校生の方でも、科目等履修生として興味・関心のある科目を受講することができます。

例えばこんな方が対象です

大学卒業資格(学士号)の
取得をめざさず、
特定の科目だけ学びたい方

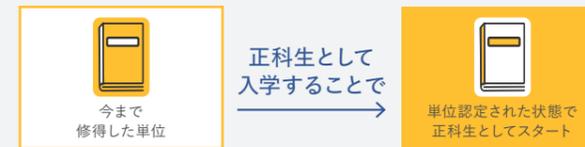
大学卒業資格(学士号)の
取得をめざしており、
大学での学びを体験したい方

科目等履修生でも単位を修得できますが、大学卒業資格を取得するためには正科生としての入学が必要です。

—— 科目等履修生を経て正科生として入学することを希望する場合 ——

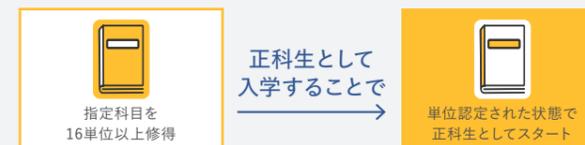
● 最終学歴が高校卒業以上で大学入学資格をお持ちの方

正科生(1年次入学)あるいは正科生(編入学)と同様の資格で出願することができ、入学審査を経て学士号取得をめざすことができます。



● 最終学歴が中学卒業・高校退学等、大学入学資格をお持ちでない方

本学の指定する科目を16単位以上修得した満18歳以上の方は、正科生として出願することができ、入学審査を経て学士号取得をめざすことができます。



POINT

お試しで学習したい方にオススメ 高校生や他大学生でも入学できる科目等履修生

高校生や他大学等に在籍中の方でも科目等履修生として興味・関心のある科目を受講することができます。オンライン学修に不安のある方や、正科生として入学する前に大学の授業に慣れておきたい方にお勧めです。

施設紹介

サイバー大学では、受講から期末試験まで、学修のすべてをオンライン上で行うため、通学の必要はありませんが、福岡キャンパスの附属図書館等の施設も充実しています。



福岡キャンパス

福岡市には、教室や附属図書館を備えた「福岡キャンパス」があります。教室は特別講義・科目外授業や、研究・教育活動等の用途で利用されています。



東京オフィス

企業や他大学との連携を積極的に推進していくため、東京にオフィスを構えています。公開講座や在学生向けの学修支援等、大学主催のイベント開催時には情報発信の場となっています。

大学基本情報

学校名	サイバー大学
学部・学科	IT総合学部 IT総合学科
学長	川原 洋
学校設置会社	株式会社サイバー大学
認可年月日(文部科学省)	2006年11月30日
認可形態	福岡市が内閣府から認定を受けた構造改革特別区域計画を活用し、学校設置会社が設置した文部科学省認可による正規の4年制大学
開学年月日	2007年4月1日
所在地	〒813-0013 福岡県福岡市東区香椎照葉3-2-1 シーマークビル3階

入学に関するお問い合わせ窓口

サイバー大学入試係 **0120-948-318** nyushi@cyber-u.ac.jp
受付時間: 10:00~19:00(日曜を除く)

■大学公式サイト
www.cyber-u.ac.jp/



■Web 出願サイト
www.cyber-u.ac.jp/apply/



■入試総合サイト
www.cyber-u.ac.jp/admissions/



公式SNS・YouTube

サイバー大学では、X やFacebook 等を通じてお知らせやイベント情報を発信しています。また、YouTube の公式チャンネルでは授業を実際に体験できる体験授業や、最新のITトレンドや技術について学べるセミナーの動画を公開しています。また、本学の魅力を伝えるプロモーションビデオにくわえ、教職員の日常や授業準備の様子等、普段は見られない裏側もお見せします。



■X公式アカウント
[@cyber_univ](https://twitter.com/cyber_univ)



■Facebook
公式アカウント



■YouTube
公式チャンネル
[@cyberuniversityinc.7540](https://www.youtube.com/channel/UCyberuniversityinc.7540)

